夕刊 滿洲日報 四月九日
發行所 大連市東公園町廿一番地 株式會社滿洲日報社

蔣氏通電を發して馮氏征討を暗示
李、白兩名のみに非ず之に續く一切のものを討伐す、と

【漢口八日發電】武漢派を征討する蔣介石氏は八日付を以て全國各機關に通電して曰く討逆は單り李宗仁、白崇禧等に止まらず、之に續く一切のものを討伐するものなりとて暗に此の機會に馮玉祥氏をも征討せん意あることを仄めかした

漢口事件發生の全責任は支那側に
南京事件は伊支案と同樣にて日支間の意見一致

【南京八日發電】既に日支間に意見の一致を見協定文作成中の南京漢口兩事件並に條約問題に關し岡本南京領事は周龍光氏に、屢非公式會見を行つた結果字句の

修正に ついて意見略一致を見たので岡本領事は十一日周龍光氏と同道で上海に向ふことゝなつた、王正廷氏は多分十三日南京出發上海に向ふべくそれまでには日本政府の最後的回訓が到達するであらうから十四、五兩日の芳澤公使、王外交部長の會見で正式に全部の解決を見るであらう、兩事件解決案の骨子は既報の通りであるが漢口事件は支那側に負傷者發生したゝめ支那側より多少込入つた要求ありたるも結局協定文中に日本がそれを遺憾とする字句を

挿入し 事件發生の責任は全部支那側に歸することに妥協出來たと云ふ、南京事件は伊太利支那南京事件解決と殆ど同樣であり、條約問題は既報芳澤公使の提案通り條約廢棄を取消し有効なる狀態に於て日本側より改訂交涉開始に應ずる旨の聲明をなすことになつた

參謀總長に何氏就任

【南京八日發電】何應欽氏は李濟琛氏の後を襲うて參謀總長たるに決し七日正式に就任した

排日記者を顧問に
國民政府任命

【上海八日發電】國民政府は典型的排日記者として我對支政策に有力な阻碍を與へ來たニューヨークヘラルドトリユーピン上海特派員トーマス、ミラード氏を支那政府顧問に任命した、氏の排日活動は雜誌ミラード評主筆時代より現在まで繼續し平和會議には支那代表隨員として顧維鈞氏等を援け華府會議には支那側顧問となり山東問題で暗中飛躍した外米國に於ける支那問題の權威として上院外交委員會に出入りし所謂山東條項の內容を素つ破抜き遂に米國をしてベルサイユ條約全文の批准を拒否せしめたなどは彼の排日活動の雄なるものである

衛戍司令に魯滌平氏
蔣介石氏は近く上海へ

【漢口八日發電】蔣介石氏は武漢衛戍司令として魯滌平氏を任命し魯氏の着任まで劉峙氏を代理司令に任命した、又各省首席は湖南省何鍵、江西省劉峙、湖北省朱培德の三氏を任命したが、朱培德氏が江西省を離れ難き事情あるため賀國光氏を其の代理に任命した、蔣介石氏は十三、四日頃漢口發南京に歸る豫定である

濟南警備の引繼ぎ交涉進む
愈よ近く引繼を開始

【東京九日發電】外務省入電に依れば濟南に於ける委員會の交涉は漸く進捗し支那側の警備引繼も近く具體的に開始する運びとなつたと

大任を帶びて來連した人
右から(前列)織田獸醫部長、大山法務部長、松井師團長(後列)長野經理部長、坪鄕參謀、鈴木軍醫部長(第二面記事參照)

山本滿鐵社長は入閣の意志無し
拓殖相就任內定說は其の周圍の策動のみ

【東京特電九日發】內閣改造問題に就いて種々の臆說傳へらるゝも此の問題は一切田中首相の意中に藏せられてあるもので未だ何人と雖も首相の口より其の片鱗だに聞かされたものは無い、殊に山本滿鐵社長の拓殖相就任は殆ど既定の事實なるかの如くに傳へられてゐるが、之は山本氏の周圍の人々が氏が中央政界を離るゝことの不利なるを感じ是非とも此の機會に入閣せしめんと熱望し運動しつゝあるわけであつて山本氏自身としては之に對して未だ一顧だも與へて居らぬのみならず、一度重大使命を帶びて滿鐵社長に就任せる以上自らの抱負を實現するに專心努力する以外に寸毫も他を顧みる遑ないとて眞向から之を否認し其周圍の策動者に對しては斯る浮說によつて滿洲方面の人心に影響を與ふることは好ましくないとて嚴に戒めてゐるほどであるから近く首相より拓相就任を持ちかけられても受諾するや否や疑問とされてゐる

不戰條約と內閣改造問題

【東京特電八日發】不戰條約問題に關する政府對樞密院關係につき世上種々の揣摩臆測を傳へ政局の

危機を 孕むもの如く報道せられてゐるが政府としては事御批准前の問題であるから御批准前にその內容及所信等について輕々しく世間にもらすことは責任上愼まねばならぬ關係から政府當局の之に對する意見は未だ外部に發表せられない從つて個府方面に於ける意見なりと傳へらるゝものもまた責任ある言明と見られない狀態である、又假に本問題を以て政局の危機を孕むものとしても國際關係上このまゝに放任すべき

性質の ものでないから結局何れの內閣かゞ本問題にふれなければならぬのである、從つて現內閣がその跡始末をなすべきであるとは、元老方面に一致した見解である、また支那との濟南協定についても外務省に於ける事務の扱ひ方及慣例上實際の解釋から見て外務當局としては獨特の見解を以てゐるものゝ如くであつて之等についても外務省としては對外的には、國際的問題であり

對內的 には、政局關係となるから忌憚なき意見を發表しない、皆外部から渦を卷いたような形に過ぎないのであるが對支問題については元老政治家の間には愼重に考慮を拂ひ國交の順調ならんことを要望してゐる、而も對支方針は內閣が更迭するも我國の態度は何等變更することはない終始一貫で行かねばならぬものである 唯その折衝に幾分の巧拙はあるかも知れぬが折角此處まで進捗したのであるから、更に

現當局 の一段の努力を望んでゐる、前內閣が對支政策に於て國民大多數の意に反して失脚しその跡を受けた現內閣であり、支那側も漸次我國の眞意を了解するに至つたのである、更に又內閣改造問題についても種々の臆說あり或は改造と云ひ閣僚補充と云ひまた政務官更迭の如き之等は皆首相一人に藏せられ、未だ嘗て首相の口よりも洩れたことは絕對になく、これまた外部に於ける

下馬評 に過ぎない、改造といふも是非改造を行ふの理由はない、閣員の補充及拓相の新任などをなせば事は足りる譯である、此際好んで廣く動搖をなす如き計畫を必要と認めておらぬ模樣である、更に床次氏等一派が今日は最早民政黨に復歸することの出來ないことは云ふまでもなく、當然政友會に合體すべき傾向に置かれてゐる、今尙その

實現を 見ないのはその時期を待つてゐるので、氏の心中は最早合體した形にまで進んで居て、現內閣もまた合體すべきものと信じてゐる、從つて議會政府の常道から考へて既に衆議院に於て多數を制することは極めて明瞭であつて政府提出の諸政策に關する議案は悉く衆議院を通過してゐる、唯貴族院が變態的に政爭の渦中に投じ來つて衆議院の議決を妨げたに過ぎないのであつて、現在政府當局は衆議院に多數を制する以上國民多數の上に立つものなりとの

信念を 以て動かずと確信してゐる模樣である、單に貴族院の一部か政黨的感情に支配せられて政爭の渦中に投じたことは許すべきでないが、樞府が若し右の如くであらば、その無責任から政變を釀成するする結果となつて、由々しき結果を招來するに至り、ひいては護憲運動を惹起することゝなり、憲政の不祥事が起るに至らう、又政界の現狀を以てしては內閣が更迭するも何等の意義なく、何等變りばえがない、現內閣に望むところは、政變の頻繁なることと、議會解散を屢行ふことは

思想界 及經濟界にとり憂慮すべきことであり、且國際的に不利を招くことゝなるから現內閣は飽くまで隱忍自重して政局收拾に努め、大任を望むといふにある如くである

不戰條約の効力大いに問題視さる
保留附批准に異議が出れば結局無効となる

【東京九日發電】不戰條約に關し政府は變形的留保の形式を以て樞府に諮詢せんことを決定した模樣である、之を對外問題として見る時は國際慣例上批准に際して留保を附することは異例であるが米國の如きは其の自主的外交より屢敢行したところであり、其の結果相手國の態度に依つて不成立となつたことも亦成立したこともある、日本に於ても第二平和會議の際留保附批准したなど其の例皆無ではない、而して留保の條約に對する效果は留保附批准は批准拒絕と同樣なりとの說もあるが實際上では相手國が異議を申出でない限り條約は効力を發生するが通例である、從つて

日本が 不戰條約に關し保留附批准をなす場合も他の條約國が之に反對せざる限り有効に成立するが萬一一國にても之に異議を申立つる時は批准拒絕と同樣になり條約は無効となる、此の場合條約の効力が日本を除く他の署名國間にはなほ有効なりとの說と全部無効說とがあるが學理上よりは後者が有力で從つて不戰條約の有効を期せんためには最初よりの手續き一切を繰返さねばならぬことゝなり、斯くては日本の國際信義上の責任は極めて

重大で ある、いづれにせよ無條件批准とならぬ限り政府及び外務當局の手續上の失態が確認されたことゝなり、關係者の責任問題たることは當然と見られる、條約問題の字句の解釋についての留保ならば更に角憲法に抵觸するものとして除外されるとせば關係者の責任は極めて重大である、而して之が不戰條約の效力に支障を來すような事態となれば對外的にも責任の所在を明かにする必要あり結局外務當局者の引責は免れぬ模樣である

荻川放談 (19)
三全代會議(其三)

革命は破壞であると共に建設である、而して支那がなほ革命の過渡に在るとき、僅かに其の統一を摑み得たる國民政府首席蔣介石の、破壞及び建設に要する財貨の調達に向つて注ぐ苦慮こそ著しと云つてよいが、こゝに蔣介石の省みねばならぬは、支那革命の政權慾に災されとることで、此弊風は地方に蟠まるのみか中央にも潛み、そのよつて來るは、革命の義士を以て立つものにさへ、悉く私腹を肥さんとする魂膽あればこそにして、これは革命時ばかりでなく、過去よりして支那の通弊とも云ふべきか。

◇

これを最近の事實に徵すると、漢口を逐はれたる武漢首腦者は、其撤退に際し同地總商會より銀二百萬元を奪ひ、亦彼等が平素に人民の膏血を絞つて握り蓄財で外國銀行に預けたるは銀四千五百萬元に上ると噂さるゝでないか、乃ち斯ふした貪着根性が政權慾となる譯で、これは啻に武漢首腦者ばかりであるまい、說いてこゝに至ると、支那の革命は政治首腦者から此貪着根性を破壞するが先決となる、然らずば革命の成就は百年黃河淸を待つに終らん、それなら此破壞の方法如何と云へば、政治首腦者から財務を取去るに限るが、そうも行くまい、少くも外人をして之が管理監督に參與せしむべしである。

◇

外人を支那の財務に係らしむなんかの說を聽かば、支那側は腰を拔かして驚き、是革命の精神たる三民主義に悖つて、國權を外國に售るものとせん、されど支那では過去から既に此事あり最近は其回復に焦るが、回復し得たものの成績は悉く惡し、況んや支那が東洋に於ける列強の競爭裡に、落伍はしたが滅亡を脫れしは、其財務の一部を外人に托したるにもよることを忘れてはならぬ、更にまたこゝで勸める外人の任用は、外國から强ゆるにあらず、支那が進んで斯く爲せと云ふ義で、國權の汚瀆にやならずして、寧ろ國權の伸長に資する大なりと信ぜらる

◇

支那の政治首腦者が、之れで眞に國家の財務を會得せんか、革命の成就とて困難でない、三全代會議に於ても、外人の雇傭を決定し居るが、それは顧問なんでは否かぬ、須らく之をして實務に當らしめ、實務も財政方面に急なるを覺ゆ、而して自國ではあるが、公務に淸廉なる點に於て世界で引けを取らぬ日本人を、之に採るの勇氣なきや、但し此の末言は焦らんが爲ならず、これも善隣としての支那を思ふ至情のみ。

資金三千萬圓で鞍山製鐵所獨立
關東廳、拓殖局の承認を經て目下大藏省で審査中

【東京九日發電】滿鐵鞍山製鐵所の分離案は既に關東廳、拓殖局の承認を經て大藏省に廻付目下同省にて審査中であるが概要は現在工場の生產能力(投資額二千二百萬圓)と將來の增產計畫を考慮し資本金三千萬圓として新獨立會社とするものである、尙將來關稅の關係をも考慮し新に內地既設製鋼所に對し出資の計畫があるが其の一として大阪に在る東洋製鐵とも內々交涉を進めてゐる

分離問題は研究中
岡滿鐵理事談

別項東京電報に對し岡滿鐵理事は語る

鞍山製鐵所の分離案は度々報ぜられてゐるが關東廳、拓殖局の承認を經て目下大藏省が審査中などゝ未だそこまでは進んでゐないけれど研究はしてゐる、然し內地に於て滿鐵が全株を持つか或は既設民間製鋼所に出資してか更に角製品工場を施設することについては相當話も進んでゐる、伍堂囑託によつて鞍山に備へつける機械は何れも半製品までの製出機械であつて銑鐵四十萬噸中十四萬噸は銑鐵のまゝ輸出し、殘りの二十六萬噸中十六萬噸を鞍山で製品にしやうといふ豫定であつたものを半製品で打切り之を內地で製品とすることゝし尙ほ十萬噸の半製品は民間製品業者に供給しやうといふことゝなつてゐる、而して製品工場は如何なる形式になるか未だ判らないが前述の半製品十六萬噸を製品に加工するのは內地であることは近く事實となつて現はれることゝ思ふ

首相歸京

「東京九日發電」田中首相は九日午後四時修善寺發午後五時二十一分沼津發の急行で歸京することゝなつた

民政黨總務會
倒閣方法協議

【東京九日發電】民政黨では不戰條約問題、濟南事件協定公文御諮詢問題及び滿洲某事件後始末等重大問題に絡まり政府は愈窮地に陷るものとして俄に活氣づき九日本部に總務會を開き今後の倒閣方針につき協議を重ねることゝなつた

山東派遣軍輸送計畫
愈廿一日から引揚開始

【東京九日發電】山東派遣部隊は來る二十一日より御用船五隻を以て輸送を開始し二回を以て完了することゝなつてゐるが大要左の如き計畫である

第一回 岐阜步兵六十八聯隊、豐橋步兵十八聯隊の一ケ大隊、名古屋步兵三聯隊の一ケ大隊、豐橋工兵三大隊の一ケ中隊、野戰病院一個

右は本月二十一、二、三の三日間に亘つて青島出發宇品に向ふ

第二回 三師團司令部、步兵五旅團司令部、名古屋步兵六聯隊、靜岡步兵三十四聯隊、其の他第一回輸送外の諸部隊

右は本月三十日及び五月一、二、三の三日間に青島發歸還する

第一遣外艦隊司令部歸滬

【漢口九日發電】武漢地方の時局安定につき我第一遣外艦隊司令部は九日上海に歸ることになつた

木下長官十五日歸任

木下關東長官は十一日東京を出發十五日歸任の旨九日關東廳に入電があつた

日本赤十字社通常總會

日本赤十字社の第三十七回通常總會は來る五月十三、十四、十五日中、皇后陛下の行啓を仰ぎ東京市赤坂區青山穩田原町憲法記念館に於て擧行することに決した、參列者には乘車乘船割引券を交付するから希望者は四月十五日までに大連支部へ申出られたいと、尙參列者は左記の通り待遇されると

イ、一般社員の爲め貴衆兩院議事堂其他の參觀許可

ロ、特別社員には新宿御苑の拜觀を許可さる

ハ、他有功章者にして高等官及勳六等以上從六位以上の者は振天府拜觀を許可さるゝ筈

獨大統領全快

【ベルリン八日發電】ヒンデンブルグ大統領の秘書官は本日閣下は病氣快癒常の如く仕事を始めた旨聲明した

辭令 (東京九日發電)

公使館一等書記官 尾見昭 支那在勤を命ず

領事 柴崎白尾 蕪湖在勤を命ず

公使館理事官 加古勝治 支那在勤を命ず

人

▲松井兵三郎氏(第十六師團長)九日入港のばいかる丸で來連
▲鈴木久之進氏(同軍醫部長)同上
▲坪鄕芳一氏(同參謀長)同上
▲長野捨吉氏(同經理部長)同上
▲大山文雄氏(同法務部長)同上
▲織田留吉氏(同獸醫部長)同上
▲德久捨馬氏(同高級副官)同上
▲ジャーゼンセン氏(丁抹領事)同上
▲二宮健市氏(關東憲兵隊長)九日着任挨拶のため各方面歷訪

大觀小觀

高松宮殿下御婚儀御決定。謹んで奉祝す。

◇

武漢派屈服の勢ひに乘じて蔣君馮君に挑戰す。足もとは大丈夫かナ。

◇

折角狙つた山東も、蔣、張双方に夾擊されて馮軍は頭も出せぬ狀態だ。しかし何等かの成算があるのかも知れない。

◇

山本滿鐵社長は絕對に入閣の意志は無いといふ。尤も滿鐵入りの時も、受諾までは絕對に就任の意は無かつた。

◇

山東軍撤退順序はきまつたが、果してスラ〳〵と實行出來るか何うか。

明日台覽の武術戰、ラグビー戰

天氣豫報

十日(曇) 北西の風 後晴れ

日出五時二十六分日沒六時廿六分
滿潮前十時三十五分 後十一時
干潮前四時廿五分後四時四十五分

各地の溫度

	午前十一時	昨日最低
大連	七、四	一、七
旅順	八、〇	〇、九
營口	一三、〇	一、七
奉天	一四、四	一、二
長春	一二、〇	四、三

高松宮御婚儀は明春御擧行遊ばす

御采納の御儀は二月頃

【東京九日發電】德川喜久子姫と皇弟高松宮殿下との御婚儀は八日を以て御内交渉を終らせ給ふたが、高松宮殿下には來る二十五、六日頃海上御勤務より御歸京あらせられる御豫定である、なほ御婚儀につきては今秋行はせ給ふ御豫定であつたが、御準備の御都合もあり明春御擧行のことに御内定になつてゐる御模様に拜承する、なほ御采納の御儀は秩父宮殿下の御先例を履ませ給ひ二月頃行はせ給ふべく御披露の宴は霞ケ關離宮を用ひさせ給ふことも亦御兄君の御時と同じと拜承する、殿下の新御殿は目下御設計中であるが御落成は明後年でありそれまでは今殿下の在はす高輪御用邸の御殿に御増築申上げ此處に御二方御住居遊ばすことになつてゐる

德川家から正式に近く宮家に御回答する

三陛下の御裁可は十四、五日頃

【東京九日發電】高松宮殿下と德川喜久子姫との御目出度き御婚約の御取決めに就ては宮内省宗秩寮と高松宮家、德川家との間に於て此の程協議中であつたが、御内約の御準備全く整つたので高松宮家の石川別當は八日午前十一時フロツクの禮裝にて殿下の御使者として小石川第六天町の德川邸に赴き鶴枝子夫人、三輪家令、島崎家扶の出迎へを受け奧八疊の間にて正式に殿下からの御内沙汰をし傳達した別當は次で御結婚準備に就て種々殿下の御内意を傳達同十一時半退出したが、德川家では唐突な宮家からの御沙汰を拜し感激し直に後見人池田仲博侯、顧問の澁澤榮三、石渡敏一博士等の來邸を求め午後三時半より御沙汰拜受につき協議の結果有難く拜受することに決し七時十五分退出した、兩三日中に更に親戚各方面に一應御沙汰を通達した上來る十一、二日頃正式に宮家へ御回答をする筈である から 天皇、皇后、皇太后三陛下の御裁可は十四、五日となる御模様である

軍艦觀覽は雨で出足にぶる

正午までに約二千名

艦隊入港の三日目である今日から一般希望者に觀覽を許可すると云ふので朝のうちから

埠頭 は相當賑はひ第一回の沖への輸送は午前九時發で滿鐵の小蒸汽奉天丸大連丸に分乘して出

水兵さん歡迎 滿日休憩所

春雨に煙る戰跡を騎乘見學

第一艦隊の乘組員がけふ二班にわかれて

旅順の戰蹟に小春雨の糸をひく九日の朝十時大連碇泊中の第一艦隊乘組准士官以上三十名は大連から來旅、關東軍司令部からの斡旋により騎乘戰跡見學の壯擧を企て淺布騎兵大尉江崎輜重大尉の案内で二班に分れ東鷄冠山北砲臺から水師營に出で正午晝食をとり小憩の後更に馬首を轉じて二百三高地方面を見學して下山午後二時新市街

これ等は陸奧、比叡に向つたもので團體としては周水小學校四十三名、聖德街小學校二百七十八名、嶺前小學校百二十六名、車務係第朝日小學校三四十名、一班八十二名といふ多數を數へ

たが、天候が禍してか一般觀覽者の數は豫定は五百のところ僅かその

半數 二百六十に過ぎない有様で取締官憲の方でも一寸意外な面持であつた

正午は前回同様九番バース假設の小蒸汽乘留棧橋より第二回觀覽團の瓦房店小學校八十六名、日本橋小學校三百六十名、沙河口小學校百七十一名、工業專門學校二百三十

急に 觀覽者の出足をにぶらして豫定數を滿たさない有様である、滿鐵案内係では今年は由良を岸壁につけて自由に見せてゐる爲例年より沖に出る者が少いもの

名が同じく陸奧、比叡に向ふ、この時分より定めにくい春の空は雨を催し

獨ア將軍死去

【ハイデルベルヒ八日發電】歐洲大戰當時獨軍の砲兵團を率ゐて猛勇を揮へるトロウイヒ、フオンランター將軍は當地に隱退し悠々自適してゐたが、病のため八日死去

滿電自動車停留所前にて散會旅大道路を自動車で歸連した

新駐第十六師團の司令部けふ來滿

高粱畑の滿洲は馴染深いと松井師團長語る

重大 な責務を負ふ京都第十六師團司令部がばいかる丸による、松井師團長を始め鈴木軍醫部長、坪鄉參謀長、長野經理部長、大山法務部長、織田獸醫部長、德久高級副官等幕僚多數の顏ぶれを見たが、陸より須藤大連憲兵分隊長、米山運輸所長、寺田水上署長等小蒸汽をもつて先發沖に出迎へ簡單な歡迎の意を表す、松井師團長は

溫味 のある口調で「お手やわらかに仲良くやつてくれ」とくだけ乍ら

滿洲に來たのはこれで前後五、六回だらうね、日露役には無論參加したしその他視察や見學でやつて來た、だが勤務として來滿したのは今度初めてだ、宜しくお賴みする、前回に來たのは大正十四年でこの時は憲兵司令官をしてゐた關係でその方の用件を帶びて大連よりズツと

沿線 を具さに視察、朝鮮の方を迂回して歸つた事がある

滿洲に行く様に決定した時、フツとなじみ深い廣々した滿洲の高粱畑を頭に置いたよ、私達は十一日の夜九時の列車で遼陽に赴任するつもりである、それ迄の行動は今日上陸したら各方面の新任挨拶廻りをして關東倉庫に一泊明朝は旅順に行く豫定で居る、十二日午前事務の受繼ぎをなし歸還司令部は十二日夜遼陽發の豫定である

一行 は着埠と共に、三宅關東軍參謀長、藤岡警務局長、田中大連民政署長、石本大連市長、二宮憲兵隊長、大内中佐並に現役將校、在鄉軍人團に迎へられ待合所特別休憩室に入る、こゝにて官民の歡迎の挨拶を受け少憩の後自動車に分乘關東倉庫に向つた

聯合艦隊の主要職員

淺間兩艦の主要職員は左の諸氏である

▲司令部 司令官中將野村吉三郎、參謀大佐金谷三郎、軍醫長軍醫大佐生田善次、主計長主計大佐貧沛維成、參謀中佐中山溫源、同少佐左近允尚正、同機關少佐中野貞雄、副官少佐大熊讓・參謀大尉大石保

▲磐手 艦長大佐鈴木義一、副長中佐宍戸好信、航海長兼分隊長少佐伊藤義一、砲術長少佐小暮軍治、運用長兼分隊長少佐佐藤敏三、機關長機關中佐松木幸得、軍醫長兼分隊長軍醫少佐上原純之助、主計長兼分隊長主計少佐丹羽榮一

▲淺間 艦長大佐日比野正治、副長中佐後藤英次、航海長兼分隊長少佐渡邊清七、砲術長少佐高柳儀八、運用長分隊長少佐原田島謙次、機關長機關中佐小西外男、軍醫長兼分隊長軍醫少佐曾田直樹、主計長兼分隊長主計少佐川

來る十五日午後四時入港する練習

一番乘りの申込みが殺到

湖月の女將も其の一人

日滿連絡の旅客輸送

四月一日から開かれた「航空郵便」は毎週三回周水子の飛行場から朝鮮の空へ飛んでゐるが、いよいよこの七月末には旅客輸送を行ふこととなつてゐる、即ち大連から一夜泊りで東京へ飛べると云ふのだから各方面の興味の中心となつてゐるわけだ、それがたとへ大連東京間百四十圓の旅費であつても、さてこの第一回の旅客機初乘希望者は既に定員を越すどころの騷ぎでなく非常な數に上つてゐる湖月の女將もその一人であるとこれに就いて麥田支所長は

旅客機は七月終りごろと思ひますが、隨分各方面から申込みがあります、どうしても斷り切れぬ人、三人ばかりは豫約に應ずることゝなつてゐます、湖月の女將さんの申込みですが、まだ返事はしてゐません

と一番乘りの申込み殺到し旅客機は飛ばない先から十人娘に婿八人のていである

皇太后宮より果物を御下賜

【京都九日發電】後藤伯重態につき皇太后陛下には八日午後五時十分植松子爵を御使として京都府立病院に差遣はされ果物を御下賜遊ばされた

後藤伯の容體變化なし

【京都九日發電】後藤伯八日午後六時の容體は體溫三七度二、脈搏七六、呼吸二十、前回發表後重湯百グラム、果物汁七十グラム、水十五グラムを攝取す、レキストリ

三十五グラムを攝取す尿量三百四十グラム、昨日と變りなし

手形金請求 口頭辯論

市長相手の

櫻井小七氏が中野辯護士を代理人として大連市長石本鏆太郎氏を相手取り手形金三千圓を請求した訴訟の第一回口頭辯論は九日午前十一時大連地方法院第二號法廷において川畑判官かゝりで開廷された原告側中野辯護士、被告側相川辯護士出頭原告側より一定の申立あつたのみで閉廷したが次回辯論は來る五月七日の豫定である

苦力の豪遊

紙幣を僞造して小洋でつり錢をとり

大連署に檢擧さる

大連市奧町七二中華棧使用苦力王[illegible]麟山(三二)は四日日本銀行兌換一圓券を所持するを奇貨とし之れを五圓に變造して同日午後三時ごろ西崗街一六三阿片小賣所同仁棧かたに至り小洋約一圓五十錢分の阿片を吸ひ小洋四圓七十五錢の剩錢を受領した事大連署に探知され十日渡邊刑事および孫刑事巡捕のため取押へられた

台覽蹴球戰 試合次第

十日台覽ラ式蹴球の順序は左の如し

午後三時半迄に選手は場内に入場この時軍樂隊が場内に陣取り吹奏を爲し擴聲器によつてルールの解説を附して觀覽者の便に供すと、殿下御來場は午後四時でこの時君ケ代吹奏し全員起立脫帽君ケ代終つて兩軍選手に殿下は拜謁を給ひ前半三十分後半三十分の試合を御台覽の上御休憩この時軍樂隊の吹奏あり尚殿下御退場の際は君ケ代吹奏起立脫帽する

柔劍道各試合とも兩軍模範的に對戰

高松宮殿下の台覽を仰ぐため戰士大いに緊張す

明十日午後二時より滿鐵大連道場に於て擧行する大連市並に本社主催の聯合艦隊歡迎柔劍道試合は艦隊側、大連道場側共に高松宮殿下の御台臨を仰ぐといふことから當日の試合は飽くまでも紳士的に行ふといふ

意見 期せずして一致し、九日朝刊に發表のメムバーの通り艦隊では柔劍道とも准士官以上の選士を出し、且つ練習不足の故により柔道は大連道場側の一級の一部に初段を、初段の一部に二段を對抗せしめ、劍道に於ても同く武道に一般に關し御下問の場合はて段合せに拘泥せぬ軍人らしい淡白さで勝敗を度外視した與味しいのあつた場合は柔道は櫻井弘文、

選擇 には愼重な態度をとつたので當日の試合こそ各組共に模範的のものなるべく、劍道に於ては野村中佐以下四段三名あり、柔道には崎中佐以下稀繼二段三名、黒は大連道場の淺川五段と學校時代を共にした五段の山口少佐を大將に東京學生聯盟に名を馳せた名手も多く何れも接戰を期待されてゐる

及び大連道場共に高松宮殿下の御台臨に特に注意し、出場者の態度で試合に臨み、柔劍道とも各委員長が統率正々堂々と戰ふことゝなつたので、大連道場側でもこの點に特に注意し申し上げることになつてゐる、劍道は高野茂義の兩氏が御説明申

觀覽者に注意

當日の大連道場はなるべく開放して艦隊側並に一般市民の觀覽を願ひたいのであるが、宮殿下台臨中は警察當局に於て警備の關係上入場を制限されたいといふ希望もあり、主催者としても混雜に陷ることを避けるため艦隊側市民側共に記名式の招待狀を發した、右につき一般觀覽者に對しては殿下御退出後の午後三時五十分より開放し隨意入場を願ふことにした、招待狀持參者以外の向は其時刻から來場されたい、尚招待狀に依り來

一、殿下の台臨は午後三時につき必らず二時三十分までに來場されたい、それ以後は一時入口を閉鎖して招待狀を示さるゝも入場をお斷りする

一、道場正門は台臨につき一般の出入を禁じ、招待者及び開放後の出入口は協和會館横としたから同所にて招待狀を係員に示し入場のこと

一、招待觀覽者は其筋の注意により記名の本人に限ることゝし絕對に他人に貸與又は代理入場は他人に招待者は必らずにお斷りする、

入場の際招待狀を會場受附係へ示し入場を願ひたい

一、服裝は不敬に亙らざる程度に於て隨意であるが、道場は土足喫煙を禁じてゐるから、この點特に注意を願ひたい

一、更めて記すまでもないことではあるが、殿下御着發の際は係員の指示により起立敬禮を願ひたく、道場では靜肅に試合中の聲援等は遠慮されたく、その他萬事會場係の指示に從はれたい

一、大連側選手諸君は午後一時半までに道場に參集されたい

乘組員の金州見學

入港中の聯合艦隊乘組員は九日より四日間に亙り第一艦隊、第二艦隊が各半舷上陸の上、金州見學に赴く事になり第一艦隊約四千人は二班に分れ午前六時半發、同六時五十分發、滿鐵より供給の特別列車にて金州に向つた、九、十兩日は第一艦隊、十一、十二兩日は第二艦隊が金州に赴くと

海事思想講演

來航中の第一艦隊及第二艦隊では在大連の小國民に海事思想を普及する意味で各小中學校にて講演をすることゝなつた

星ケ浦斷水

大連民政署水道係では水道鐵管連絡工事施行のため四月九日午後九時より翌日午後四時までの間星ケ浦、水明莊、黑石礁一圓の斷水を發表したなほ當日雨天の際は順次繰下同時間斷水すると

南船北馬

◇…來る十四日の日曜日に平原俳句會主催で柳樹屯に吟行

これは三十四年前の日清戰役當時に從軍記者として四月十五日に渡滿柳樹屯に上陸した正岡子規の足跡を辿るためで午前九時露西亜町集合多數の參加を希望すると

◇…數年間伴れ添ふた良人の正體が女と判つて細君が吃驚したといふ珍妙な話

男裝した良人はレスリー、バーカーと云ふ英國の拳鬪の先生で細君はサセツクス縣の薬屋の娘でハワードと云ひ二年間戀を語つて一九二三年に結婚したものでバーカー大尉が破産事件で女囚刑務所に監禁されたので始めて良人が女と知れたもので同棲しながらその秘密を發見しなかつたのが不思議がられてゐる【ロンドン發聯合】

◇…テリー來電に依れば今朝印度議會に於て議長パテル氏が立つて何事か言はんとする瞬間突然二個の爆彈破裂し數人の負傷者を出し、議會は大混亂に陷り直に散會した、爆彈とピストルを持つた二名の者が捕縛された【カルカツタ八日發電】

金剛呪門 (204)

山中峰太郎作 小田富彌畫

肌の魅惑

——場面は轉じて沼田玄昌の邸……

外の生垣を廻つて、わざと裏門へ入つてきたお京、たゞ一人縮まつてる勝手口にたゞずむと、

「御免くださいまし……」

はのかに聲をかけながら、あたりの樣子を窺つた。

隼から覗まれて、玄昌の邸内を、それとなく探りにきたものゝ、かうした目明し仕事は、けふが初めてゞある……

訪ふ聲も、さすがに震へた。

そこへ前の障子が、ガラリと開かれて、不意に顔を出したのは、見覺えのある門人の萩原、すると、い瞳を閃かしてお京を見すえると

「あゝ、あなたか？何の御用？ウム、髷の卷かへか？」

「はい、どうぞ。先生は？」

「先生は今、おるすだが……」

「まあ、どちらへか？」

「しかし、傷の洗ひと卷かへなら私がしてあげる。お上りなさい」

「では、どうぞ、憚りさまでございますけれど……」

「なに、かまはぬ。お上り」——お京は、勝手口から座敷へ上つた。

……留守？けれど、玄關の方に二梃の籠がおいてあツたのは、お客ではなかつたらうか？

……とすれば、そのお客は？

と、そゞろに湧きたつ探偵ごゝろに、お京は座りながら、中庭の方を眺めた。

あけ放してある緣を隔てゝ、明るい朝の日ざしに、玄昌の下着が干してある。物干竿が端にキラリと輝いて、

……袷の下着が干してあるのは？男世帶の不精からか？

と、眼をそらせると、その横に……角帶まで、ずぶ濡れのまゝ干してある。

「仕度してくるから、待つて下さい」

萩原は診察室の方へ、ツカツカと出て行つた。

「お手數をかけまして……」

「いや、なに」

出て行つた表の方には、人の氣はひがない。萩原の足音のみが、すぐ消えてヒツソリしてる……今日は患者も來ぬらしい。

お京は、袷と角帶が、ダラリと物干竿に下つてゐるのを、いぶかしく眺めた。

と、そこの緣の向ふに、離れ座敷があるらしい。その方から、ふと呟くやうな聲が、低く聞えてそのまゝ消えた。老人らしい聲であつたのは……？

萩原が、膿盤と繃帶などを、兩手に持つて入つてきた。お京の前に坐ると、

「さ、見せなさい。手當ては先生でも私でも、同じことだ」

「はい……」

三角巾を脱して、お京は帶をゆるめた。

投針の入つてる革袋を、帶の下へ隱して、スラリと脱いだ左の片肌、瑞々しい肉づきの腕から胸へ匂はしい乳ぶさも現れて、さすがに面羞ゆく、お京は、ほのかに紅くなつた。

萩原は繃帶を解きだした。

……血がにじんでる。

「はてな？」

と、萩原、つぶやいた。

「なんでございます？」

「新しい血の色だ。此前の時の血ではない。どうかしましたか？」

と、萩原の息がはずんだ。

……處女の生肌！

眞近く眼の前に、それを見る萩原、お京の横顔から襟すじ、肩への圓みから乳ぶさへ流れる肌の匂ひに繃帶を解く手が、あやしく慄へだした。

お京は離れ座敷の方へ、それとなく氣をとられながら、

「いゝえ、傷が破れたかも？」

「さうかも知れぬ。あゝこれは、大分に出血してる……」

ふるへる手さきに解いた繃帶をそばへ捨ると、下のガーゼを、萩原は、ソツと剝ぐやうに取りだした。

お京は紅い唇を引しめた。

「痛む？」

「……」

「濡らしてあげよう」

萩原の聲も、あやしく慄へた。

映畫と演藝

新館建設と映出監督 (下)

江馬洋

映寫機と相對關係にあるものは映寫幕（スクリーン）である。劇場側から言ふと、映寫幕の性質をよく研究しヴイジユアルアングルを廣くして出來るだけ多くの觀客に明瞭な映畫を見せることにしなければ損だ、シルヴアースクリーンが一般に良好だと信じられてゐるらしいがそれは奧行の深い映畫館によいのであつて、このスクリーンは映寫機の中心線から左右に三十五度までが適當でそれ以上片寄ると餘程暗くなつて完全には見えない、これが擴散性のスクリーンだと七十五度までは大丈夫だ、金にお構ひなければゴールドスクリーン。ユーレカ、プリズム、スクリーン等もあるがさう贅澤は申しますまい。

それから劇場の內部照明である、明るい街から入つて來ても容易に座席を見出し得る程度の照明位は是非必要だ、座蒲團を買ふかチツプを遣らなければ案內もしてくれぬ不親切なお茶子のために突ツ放されて固い椅子の角で向脛をかつ拂はれるのは決して愉快なものではない特に最近映畫レヴウ、プロローグ演出等は益々時代が要求し發展するであらふから映畫館と言へど充分な舞臺照明裝置をしなくてはならないと云つてももう協和館の樣な脚燈（フツトライト）は止めて下さい、あれはモウ過去の遺物ですから、フオチユニー式のボーダーライト三組と左右六個のスポツトライト裝置は是非必要ですそれからダークチエンヂの爲に完全なレオスタツト三臺は置いて下さい、そしてこれ等の爲に舞臺の天井はグリデイロン（ぶどう棚）を組むことを忘れてはならない。

尙ランプの色を分けて青、紫赤アンバ等諸種の色彩光線で映畫休憩時に映寫する映畫の感じに適應する光線を場內に漲らせ特種の美的効果をあげるやうにする事はモウ決して新しい試みでもなんでもありません

最後に是れは建築に何の關係もないが、誇大な宣傳や場當りなごまかしで觀客を欺瞞する事になる所謂興業師的支配人でなく全く上映術の確立とその適率を眞向に振りかぶつて、映寫に、說明に、音樂に、照明に、從業員のサービスに、是れ等一切の上映機關の有機的な統率の出來る立派な人格のある映畫上映監督の出現を望んで止まない。

マキノ日活 發聲映畫 「戻橋」と「東京行進曲」

松竹日活マキノの三大映畫會社がトーキー製作を計畫しセンセーシヨンを起してゐるが、マキノにては既報の如くトーキーの試みとして故澤正の「月形半平太」及び加藤武雄原作「愛する者の道」にトーキーを裝置するが更にこの程東條式發聲映畫との提携成立により第一回作品としては時代劇のトーキーとして最も場面の轉換件奏料白の變化が面白い「戻橋」を選定し省三氏の指揮でマキノ智子の鬼女、南光明の渡邊綱の配役で四月一杯に完成し五月封切の豫定である、また日活にては溝口健二監督オールスターキヤストで製作中の菊池寛原作「東京行進曲」のクライマツクスにトーキーを裝置し俳優の對話をとり入れる事になつた封切は五月一日の豫定で夏川、入江、瀧花等の聲がスクリーンを通して聞かれるといふので相當ファンの血を沸かす事であらう、これ等のトーキー製作に伴ひ俳優にも必然的異動を生ずべく俳優は既に發聲方法を勉強するなど今夏あたりには種々な問題が惹起しそうである

◇◇加賀見山◇◇ マキノの歌舞伎映畫でマキノ智子を始め女優軍總出演【八日から演藝館上映】

閑話

發聲映畫時代が來れば解說者は不要、いよいよ技師の黄金時代に入ると許り▲演藝館の井上君が例の天眞爛漫振りを發揮して誰彼の容赦なくまくし立てるので▲解說者諸君も負けて居ずと大に反駁▲そんなに心配しなくても演藝館のお歴々はトーキー時代が來る頃には何れも堂々たる配給屋さんで納まるでせうとのこと▲映畫館の照明もそろそろ時代に適應した設備を整へて欲しいといふ聲が高いが▲今度協和會館で三千圓とかを投じて館內の照明全部を改善する事になつた▲これは眞面目に各館主へ、近頃暖かくなつて來たので恒例の南京虫が活躍を開始して閉口するといふファンの投書が續々と舞ひ込みます……

漫話

地獄のパス

細谷の坊ちゃんと太田の坊ちゃんとが中學校に入學するので受驗地獄の關門を突破せんものをと相競ふて勉強しました。梅の花も桃の花も兩人の机の上には春の樂しさを齎さず地獄の物凄い炎のみ燃へさかる心地で一杯でした。それでも兩人は必死になつて勉強しました。その甲斐あつて席順に前後はあつたが兩人共見事に地獄の關門をパスして入學しました。兩人は互に『バンザーイ』

後門の狼

新しい金釦に輝く希望を躍らせ乍ら兩人は毎日中學校の門をくゞりました。然しどうしたものか細谷の坊ちゃんは顔色が惡いし時々頭痛がしたり嘔氣を催したりして苦しむ事が度々でした。折角入學の悦びも束の間で先生も兩親も非常に心配しました。太田の坊ちゃんは何時も親切に介抱して居ましたが段々と軀の具合が惡ひので早退したり休んだりする樣になりました。醫者も頭を捻りました。

春風至る

細谷のお母さんは『ひよつとしたら蛔蟲の仕業でないかしら…！』と考へました。早速思ひ出したのがマクニンでした。藥屋に女中を走らして買つて來たマクニン錠を飲ましました。二日程すると細谷の坊ちゃんは嬉々として交々至ると云ふ不思議な顔付をして便所から出て來ました。それからめきめきと快よくなつて元氣に通學を初めました。春風再び至つた細谷の家庭ではマクニン錠の偉効に感嘆しました。

つまり細谷の坊ちゃんの病氣は蛔蟲の寄生て居た爲で手後れになると成績が落ちるばかりでなく一命にも關はる處でした。それ以來細谷の家庭では毎月必ず二三回宛マクニン錠を服用することになり近隣知己にも奨めて居ります。マクニン錠は何處の藥店にもありますが詳しくは大阪市東區道修町藤澤友吉商店へ御照會になれば『恐ろしい蛔蟲』といふ小冊子を無代で送つてゐります。

映画案内

演藝館 八日封切 新しい映畫 格安な料金

マキノ春期超特作品 新解釋の歌舞伎映畫 加賀見山 マキノ智子・櫻木梅子 松浦築枝・岡島艶子 大林梅子・都賀靜子 河上君江・水谷蘭子 競演

大喜活劇 ワーナー・ブラザース社作品 マキノ女優軍總出演 我等が名犬 リン・ティン・ティン主演 咆哮する猛者

帝キネ長篇作品 名畫「劍難」姉妹篇 市川百々之助主演 大江戸恐怖篇 百鬼夜行

帝國館 八日より十四日 ▲特別大興行▲

現代劇 原作 大阪毎日新聞社募集當選 脚本 大松竹青年少女總出演 清水宏監督、水島あやめ 美しき朋輩たち 全卷

時代劇 堀正夫、千早晶子主演 天誅組 全卷

現代劇 昭和の女賊傳 八雲惠美子のハルビンお雪 橫尾泥、岡田共演 夜の牝猫 九卷

三大映畫愈々公開 十五日より松竹大傑作三大都會にて日延べ又日延べの小唄レヴュー 君戀し 八卷公開期待を乞ふ

浪速館 八日より特別三大名畫大會

日活時代劇 清瀨英治郎監督 常磐操、久米讓主演 斑蜘蛛

日活超特作現代映畫 阿部豐監督作品 社會大悲劇 ＝涙の裁き＝ 母いづこ

岡田時彥、中村園子 入江たか子、中野英治 外現代劇部總出演

パラマウント特作 大喜活劇 クラレンス・バツジヤ監督 ビーブ・ダニエルス孃主演 ダグラス以上の大飛躍大殺陣 男裝女劍客

常盤館 四月九日より上映

高見貞衛監督 八尋不二原作 脚色 懷かしき吾等の友杉狂兒が天稟の敏腕遺憾なく發揮せんとする懷しき學生ローマンス 隨所に湧くユーモアたつぷりな彼の冴へ切つた妙技は到る處：微笑…苦笑…爆笑…となつて現はれる新春絶好の朗らかな若き日のエピソード

前篇 選手三合宿所 主演 正宗新九郎 鈴木澄子

捕物 奇談 寺妻三郎主演 奇傑座八 鮮血の扇

標準漢和大字典

文學博士 藤井乙男
文學博士 小柳司氣太 共著
文學博士 笹川種郎

四六判箱入美裝 定價參圓八拾錢
紙數二千九百卅頁 送料 四十五錢(内地) 七十五錢(鮮)

內容見本進呈

本書は大正六年初めて着手してより實に十三年の長き星霜を經て漸く完成せしものにして著述を苟もせざる學者的愼重の態度を示せる近來稀有の大著述也今や時來り發刊す三博士が國漢兩方面の立場より漢字を研究せられたる蘊蓄の結晶を知らんとする人は本書を見よ

特價參圓五拾錢 四月三十日迄

=十大特色=

一、字數 漢文學を研究するに必要なる漢字は殆んど網羅したれば蒐錄する處の漢字數は空前の多數にして遙に類書を超越せり。

一、故事成語類例 の蒐集多方面に渉りたるを以て是れ又蒐錄のレコード類書を突破せり。

一、検索の便 所要の漢字の偏何の傍にあるものなるかを知るに苦しむは初學者の常なれば本書は此點に研究を重ね所要の漢字の何れの部首に屬するを知らざるものにても直に見出し得るやう注意せり例へば相の字は目の部に屬するも本書には目の部にも木の部にも記載して検索の困難を除去せり

一、漢字の意義 を知らんとするには字源を知るを要するは言ふまでもなきことなれば本書は進んで此の點を研究せんとする人の爲に字源を蒐錄し其の説明をも試みたり。

一、四聲の區別 漢字研究に最も必要なれば本書は此の變化類別を明にせり。

一、漢字の意義の解釋及び變化の説明 は本書の最も力を盡せるものにして懇切周到廣汎透徹を極めたり。

一、行草便覽 漢字のくづしかたを知らざるは現代人の通弊なれば本書は常用の漢字約五千を選び各數様の行草體を示し凸版印刷とせり。

一、検字、字音索引、字訓索引 是等の索引なくとも容易に所要の字を索め得るは本書の特色なるも備はるを欲する意味に於て付載せり。

一、定價至廉 類書は大抵二千四五百頁までなるに本書は約三千頁に近き大册なるも定價は最低に止めたり。

一、用紙、製本、裝幀 用紙は王子製紙會社の最上等品千歳を使用し印刷の鮮明製本の堅牢裝幀の優美にも意を用ひたり。

東京市神田區錦町三丁目十二
大阪市南區大寶寺町西ノ町二二
電話南一一七七番・振替東京五二六〇七・大阪七三三三番
博多成象堂

新學期

建築講義錄

會員募集◆諸君は現在の境遇に滿足せらるゝ哉◆

一ヶ年半卒業

僅か一日一時間半の獨習で立派に建築家(設計、製圖、監督、請負業)の實力を得らる、最も信用ある講義錄。今や大改訂成り益々内容の充實と新らしき講義に依り其眞價を高む

◇内容見本(入會案内)贈呈 今直ぐハガキで申込下さい

會費 一ヶ月 八十錢 四ヶ月 參圓拾錢
八ヶ月 六圓 一ヶ年 拾圓五拾錢

編輯 帝國大學教授 工學博士 伊東忠太先生
顧問 早稲田大學教授 工學博士 佐藤功一先生

小學校卒業の學力さへあらば何人にも讀んですぐ活用の出來る樣に講義したものなれば、座ながら師より手を取つて習ふ如く、古き經驗により最も完備せる講義法と、親切なる通信教授の法により毎日面白く新智識を修得する事が出來る。

東京四谷大番町 電話四谷三八八七 振替口座東京二〇八七〇番
帝國工業教育會

校外生徒募集 僅か一ケ年半で家庭に居ながら女子大學卒業の學力が得らる

日本女子大學 通信教授 女子大學講義

見本學則無代送呈
東京小石川目白臺 日本女子大學校内 女子大學講義發行所

滿洲日報

共編 成蹊高等學校教授 志田義秀先生
成蹊高等學校教諭 田中貢太郎先生

日本植物圖鑑ニ準據セル

植物名彙

本名彙ハ日本植物圖鑑ニ載錄セラレタル植物名ヲ洩レナク五十音順ニ列擧シ古今ノ文獻ニ徵シテ語原・和名漢字・漢名・一名・古名・特稱等參考事項ヲ可成的詳密ヲ期シテ附記セルモノナリ。他各學校圖書館・植物愛好家・和歌ノ讀者國文學上ノ好參考書トシテ弘ク賢覽ヲ乞フ(各地書店へ御註文ヲ以テ頒布ス。)

四六判 180頁 實費頒布 15錢 (直接御註文ハ切手代用可)

動植物採集研究之絶好指針

本邦唯一之動物圖説書
丘博士外廿壹氏共著
日本動物圖鑑
四六判背革 貳五〇〇頁 ¥15.00

植物圖説書之最高權威
牧野博士外四博士執筆
日本植物圖鑑
四六判背革 壹五〇〇頁 ¥10.00

詳細内容見本御申越次第進呈

東京・京橋・元數寄屋町
振替東京七五〇番
株式會社 **北隆館**

外務省附 南外派遣 内地兼用

巡查養成講義錄

巡查志望者は本會に學ぶに限るはがきで申込次第會則無代進呈す

會則無代進呈

東京巣鴨町二ノ六 **日本警務學會**

社團法人 日本工人倶樂部編纂

機械講義

◇十九ケ月で高工卒業の力が得られ機械技師となる捷徑

◇最新機械知識により技術者として優越の地位をしめんとする者は本講義錄を讀め

◇新進の實務家が理論と實際をメートル法に依つて懇切に平易に講述した本講義は工塲從業員の良指導者であり工業學生の好參考書であるばかりでなく土木、建築及化學技術者にも必須の良書也

入會の好機 内容見本進呈

全拾九卷 毎月一冊 會費一ヶ月壹圓

發行所 東京市神田區錦町一の一二 振替口座東京七三〇八三番 電話神田二二五一、四四九一番 **工人社**

會員諸氏に告ぐ◆本講義は創刊以來日本工人倶樂部出版部名義で發行しておりましたが今回業務發展と共に一大飛躍を致す爲に前記の通り發行所を變更し機械講義出版業務を開始致しました一般工業書の出版を引受け致します

學生生活の太陽

服部文學博士 小柳文學博士 共著 昭和新版

詳解漢和大字典

◆百五十萬部突破記念大特賣◆

六十錢廉く買へる

絶好の機會は今月に限る!

漢和辭典中の權威
全國中等學校 千五百餘校の指定辭書

大特價 金三圓二十錢
(定價三圓八十錢)

締切四月三十日

東京市九段坂下 振替東京五〇一番
富山房

和洋家具室内裝飾
絨氈及リノリユーム卓子掛
圖案設計

和興洋行

川畑保市
大連市東公園町六十六
電四九一四番

資本金 壹千萬圓

株式會社 滿洲銀行

大連市伊勢町六十九番地
頭取 村井啓太郎
電話(代表)四一二一番
振替(大連)三三〇番

支店所在地
金州、普蘭店、貔子窩、鞍山、奉天、小西關、公主嶺、長春、吉林、撫順、本溪湖、安東、開原、鐵嶺

清鮮なる春の帽子!!

一色……二型……三値段
型狀優雅……氣品充溢

國産優秀品 最新型の
中折帽子 鳥打帽子 婦人子供帽子

日ノ出向鳥印帽子

御愛用を……

登錄商標

全國著名な帽子洋品店にて
商標御注意 ……御買求めを希ふ

東京 大阪 吉安商店

新學期開始

中學・女學・法律・文學・政治經濟
各講義共新學年開始 申込次第各見本進呈

遞試第二種第三種受驗準備機關

電氣工學講義

入學の絶好機

第一号出づ

見本進呈

一昨年創刊以來、理想的遞試準備機關の名聲を獲得した。今回愈第三回春期新學年を開始す。電氣技術者たらん者は速に本講義に就け!

一册 菊判四百頁・毎月一回發行
學費月 壹圓五拾錢・一ケ年修了

監修 遞信省工務局長 工學博士 稻田三之助
顧問 早稲田大學名譽教授 工學博士 淺野應輔 ・山本忠興

電氣法規 逵澤博士
工業數學 帆足助教授
電氣磁氣學 提教授
電氣磁氣測定 宮部助教授
交流理論 高津博士
直流機械 黑川教授
變壓器 廣田助教授
誘導電動機 川原田助教授
同期機械 山本教授
整流子電動機 川原田教授
送電配電 大隅講教授
上田助教授
密田博士
前川講師

火力發電所 後藤講師
水力學要綱 松木教授
水力原動機 池谷講師
水力發電所 瑞野助教授
電氣鐵道 上田教授
電動機應用 山本講師
電燈照明 上田助教授
電氣化學 門倉助教授
電信 富井教授
電話 大森技師
無線電信電話 池田技師
電子論 金原講師
農事電化 提教授
上田助教授

電氣工學豫科講義

學費月 八拾錢・六ケ月修了

電氣工學通論 提教授
代數學 藤野教授
幾何學 高見教授
三角法
力學 帆足助教授
高等數學大意

英語 岡村教授
物理學 秋山學士
化學 小林學士
製圖 鯰川講師
工業通解 市川講師

商業講義

早稲田講義錄

入學難就職難は解決された!!

學校に行かずに僅かの費用で仕事の旁ら勉強したい人、獨學で甲種商業學校卒業の實力を得たい人々に一番適したのが本講義錄です。だから之に依つて勉強する人には入學難もなければ就職難もなく、不景氣を怖る事は更にない。一日も早く利用した人ほど出世も早いのです。

一册 菊判四百頁・毎月一回發行
學費月 壹圓貳拾錢・一ケ年修了

商業論理	平沼淑郎
商事要項	伊藤重治郎
經濟學	服部文四郎
廣告學	松宮三郎
商品學	荻田才之助
實用珠算	村林專之助
商業算術	赤堀彌作
商業簿記	小林行昌
銀行簿記	中田浩
工業簿記	長谷川安兵衞
商業英語	杉山茂
商業英語會話	前田定之介
商業文研究	前田定之介
經濟學	服部嘉香
經濟地理	綿貫勇彥
民法	遊佐慶夫
商法	寺尾元彥
最新店頭販賣法	井關十二郎
最新陳列法	井關十二郎
高速度販賣法	稻宮又吉
事務カード式	荻田才之助
商品の包裝	藤澤久
外國貿易實務	市川忠一
工業通解	野田兵一
最新經濟學實用	前田定之介
英語講話	石山玉子
代數學	石山玉子
幾何學	大塚維二
物理學	林伊勢吉
化學	

東京牛込 早稲田大學出版部發行
電話 牛込三四五番 振替 東京一一二三

最新刊

堀口大學著 コクトオ詩抄 實價二圓九十四錢送料十二錢
年史刊行會編 昭和三年史 實價二圓九十四錢送料二十七錢
野口米次郎著 人生詩集 實價二圓六十二錢送料十四錢
上師清二著 水野十郎左衞門 實價二圓十錢送料十二錢
松山識著 人生哲學 實價二圓十錢送料十二錢
浪六著 裸體の人間 實價一圓三十六錢送料十四錢
國民保健協會編 スポーツと健康法 實價二圓九十四錢送料十六錢
川村秀雄著 趣味の草花園藝 實價一圓六十二錢送料八錢
長永義正著 支那經濟物語 實價二圓六十二錢送料十錢
英語研究會編 英語三ケ月獨りまなび 實價二圓十錢送料八錢
森口多里著 美術概論 實價二圓六十二錢送料八錢
朝日新聞社編 國際聯盟年鑑 實價八十四錢送料六錢
石原純著 アインシュタインの新學説 實價四十二錢送料二錢
佐田弘治郎著 支那交際上の習慣 實價二十錢送料二錢
百田宗治著 獨步詩選 實價五十二錢送料四錢
百田宗治著 暮鳥詩選 實價五十二錢送料四錢
百田宗治著 啄木詩選 實價五十二錢送料四錢
百田宗治著 透谷詩選 實價五十二錢送料四錢

大連市大連町 大阪屋號書店

最新刊

主婦の友社著 蜜蜂の有利な飼ひ方 實價六十三錢送料四錢
杉村廣太郎著 楚人冠その他 實價一圓二十六錢送料六錢
水上鐵次郎著 一九二八年海外勞働年鑑 實價一圓五十七錢送料八錢
谷譲次著 もだんでかめろん 實價一圓二十六錢送料八錢
佐藤紅綠著 毬の行方 實價一圓五十七錢送料十錢
教育週報社著 明治大正教育勅語渙發 實價二圓六十二錢送料十錢
山路愛山著 勝海舟 實價一圓五十七錢送料八錢
朝日新聞社著 國際聯盟年鑑 四年版 實價八十四錢送料六錢
主婦の友社著 和洋中流住宅集 實價九十四錢送料八錢
佐々木君代著 女子書翰文 實價一圓五錢送料十錢
伊藤堅逸著 青年期の研究 實價一圓三十六錢送料八錢
臨城虎雄著 保險讀話
入交總一郎著 社會主義讀本 實價七十三錢送料四錢
東京音樂研究會著 教育唱歌集 實價一圓五錢送料六錢
山内千代著 裁縫の理論と實際 實價三十二錢送料四錢
室伏高信著 アメリカ 實價一圓六十八錢送料八錢

大連市大山通 滿書堂書籍部

北滿の特産市場取引不能に陥る
支那側の雜穀差押へで
日本側善後策を協議

【哈爾濱特電九日發】食糧品の輸出禁止するため、ポグラニチナヤにおける輸出小麥抑留に引續き支那路警處當局は大豆、豆粕、豆油を除くほかの雜穀全部を差押へるに至つたので北滿特産市場に大恐慌を起し取引不能の狀態に陥つた、日本側關係者では支那側と交渉中であるが、關係者は日本商業會議所において八木總領事を中心に善後策を協議中である

十四日上海に於て日支交渉を續行
周龍光氏の病恢復せざる場合
芳澤公使と王正廷氏

【上海八日發電】南京事件に關する日支交渉は周龍光氏の病恢復せざる場合は十日堀內書記官南京に至り打合せを爲し十四日上海に於て芳澤、王正廷間に續行されると

蔣介石氏を組織部々長に
宣傳、訓練正副部長
執監委員會で決定任命す

【南京八日發電】第三次中央執監委員會は本日午後左の如く決定任命した

組織部々長　蔣介石
同　副部長　陳果夫
宣傳部々長　葉楚傖
同　副部長　劉蘆隱
訓練部々長　戴天仇
同　副部長　何應欽
中央黨部秘書長　陳立夫

兩湖財政整理
宋子文氏赴漢

【南京九日發電】財政部長宋子文氏は今朝上海に到着し水路直に漢口に向つたが其の用務は湖南、湖北の財政整理を爲し之を中央直轄とする爲めで之を以て中央直轄は江蘇、浙江、安徽、江西、湖北、湖南の七省となつた

反日會解散を更に嚴命

【北平廿九日發電】國民政府は濟南事件解決後全國に反日會の解散を命じたが一向徹底せぬため更に七日附を以て如何なる形式に於ても反日會類似のものゝ存在を許さず、若し之を犯さば准共產黨員として逮捕處分すべき旨各省黨部に嚴重命令した

第一遣外艦隊司令部引揚
漢口から上海へ

【漢口九日發電】當地方時局安定につき第一遣外艦隊司令部は來る二十日頃當地發上海に歸ることゝなつた

きのふ旅順戰跡を騎乘見學した第一艦隊乘組の准士官連

內田海軍次官上海に着く

【上海九日發電】內田海軍政務次官は午後二時當地に到着したが、十一日南京に赴き十二日驅逐艦で漢口に向ふ豫定である

首相、小泉氏要談

【修善寺九日發電】小泉策太郎氏は八日午後八時伊東より修善寺に田中首相を訪ひ內閣改造問題並に復黨問題に關し首相との間に三時間に亘り重要なる意見の交換をなすところあつた

松岡副社長首相を訪ふ

【修善寺九日發電】松岡滿鐵副社長は九日午前十時修善寺に田中首相を訪問し、近く歸任につき滿蒙鐵道問題の打開策につき重要協議を爲す處あつた

朝鮮敎育令の改正勅令案
政府苦境に陥るか
樞府諮詢が遲れて

【東京九日發電】朝鮮敎育令中改正勅令案（師範學校の組織改善案）に關する樞府精査委員は八日倉富議長より指名されたが、本案は四月一日の新學期から實施することになつてゐるにかゝはらず樞府諮詢が遲れたゝめ豫定の如く實施することが出來なかつた結果、實施期を繰下げる以上一應本案は撤回し修正して再諮詢すべしとの議論もあるので、實施期は何時頃となるか見當つかず、ために政府は相當苦境に陥るのではないかと見られてゐる

全國一齊に耕地調査を行ふ
世界農業センサスに
◇……我國も參加して

【東京九日發電】萬國農事協會提唱に依り一九三〇年に施行される世界農業センサスに我國も參加し農業調査を實施することになり過般の議會にて其の豫算通過を見たので、政府は本日の官報を以て農業調査委員會官制並に會長鳩山翰長以下委員を統計局、內務省、農林省の各關係局長より任命し第一回の幹事會を九日午前十時より開き種々打合せを行つたが、此の調査は頗る大仕掛のもので昭和四年より三年間を要し本年九月一日には全國一齊に耕地調査を行ひ五年三月其の結果を公表する、五年十月一日には農產物生產調査を行ひ之も同時に經營調査も爲し六年中には其の整理を終る豫定なるが此の調査に當る調査委員は國勢調査に準じ各市町村長の手を經て地方長官の推薦に依り內閣から任命する筈である

前田法制局長官
吉田次官と協議

【東京九日發電】前田法制局長官は九日午前十一時長官室に於て吉田外務次官と會見、十日の樞府本會議に於て爲すべき不戰條約に關する陳謝的辯明につき協議する處あつた

奉天から蔣氏に彈藥を供給
迫擊砲彈小銃彈等を
既に天津を經て發送

【奉天特電九日發】張學良氏は蔣介石氏援助の目的にて去る五日山海關通過の軍用列車にて天津警備司令あて山砲彈八千、迫擊砲彈一萬七千を發送し、天津警備司令に於ては其の內山砲彈一千、迫擊砲彈七千を七日夜塘沽より上海に向け發送したと

邦人に對する迫害洮南にも飛び火す
在留邦人の家主を取調べ拘禁
その成行注目さる

洮南公安局では三月初旬張學良氏の命令であるとて日本人に家屋を貸與し又は土地を賣る可からずとの布告を出したが、今月七日に至り突如邦人經營の大通旅館の名義人及び家主を召喚し邦人との關係を取調べた上其後これを拘禁した、居住邦人に對しては未だ立退き其他の壓迫は加へないが曩には敎化の例もあり今後支那官憲が如何なる態度を取るか不明であるが在留邦人は何れも其の成行きを注意して居る

家屋の貸與を嚴禁

敎化に於ける支那官憲の邦人居住壓迫が問題となつて居る矢先、張學良氏の命令と稱し日本人に對する家屋の貸與を嚴禁し尚將來を取締るべき旨の訓令が最近東三省の各地に發せられた由である

米地下鐵賃金の値上申請却下

【ニューヨーク八日發電】ニューヨーク、インターボロー、ラピッド、ツランシット地下鐵道會社は賃金値上を申請して當地裁判所より却下となり上告したが、今回更に大審院に於て却下となつた爲めインターボロー株慘落し之と共に諸株一齊に八乃至二十ポイント下落した、この下押氣勢は有力者の援助に依つて遂に阻止され殆ど前日の相場迄引戻した

本年は百萬圓で大連の水道工事
欒家屯の堰堤工事は
本年中に完了の豫定

大連市人口の增加に伴ふ飲料水の供給に就いて關東廳土木課では昭和二年から六ケ年間の繼續事業として上水道の設備費約五萬五千圓の豫算を以て大連欒家屯及王家屯の二箇所に貯水池を選定し着工中であるが本年度は約百萬圓の經費で欒家屯の堰堤工事を完了する豫定である、右に就き清水技師は語る

工事の主なるものは貯水池導水管及其の敷設工事、濾過池の設備及水を山上に配水する配水工事、配水管を市內及發展する市外方面に敷設する等で完成した曉は欒家屯は毎日一萬噸、王家屯も亦一萬噸で龍王塘既設工事第三期からは一萬二千噸其他補助水源池から三千噸の合計約三萬三千噸を給水する可能性がある、其れだけの給水があれば人口約三十萬は大丈夫であるが工業が盛んになれば勿論不足する危險があるので土木課として工費の要らぬ掘鑿法による水源發見に絶えず調査研究してゐるのである、金州からの報告によると大房身の曹達灰工業に必要な水源を發見したとのことであるが一應實驗してみる考へである

因に本年度の欒家屯堰堤工事は約六十四萬坪の貯水池に對するもので龍王塘は四十七萬坪であるから約三割五分廣く、旅大の給水事業には右三ケ所と補助水の工事其他の設備のため關東廳では總額約一千五百餘萬圓支出することになり當局として給水に苦慮してゐる

大連の大宗たる大豆三月中の移出高は既報の如く五萬九千百三十八石、九十六萬二千二百八十圓であるが今之れを主要仕向地に區別すれば左の通りである（單位石）

仕向地	石
敦賀	二〇、三一五
名古屋	六、七〇〇
大阪	五、七四八
東京	四、三八八
尾ノ道	四、六〇〇
下關	三、四六〇
武豐	三、二〇〇

清津港の滯貨

【清津九日發電】清津港移出品の大豆は三月に入りても內地相場が安いため荷動き極めて閑散にして月末清津の滯貨は二十萬叺八萬石で一石十五圓と見積り百二十萬圓に上る譯である

佛大使外務省を訪問
批准遲延事情を聽取

【東京九日發電】フランス大使ドビイー氏は九日午前十時半外務省に吉田次官を訪ひ不戰條約批准遲延の事情につき説明を聽取し外務省の方針につき懇談した

獨逸賠償年金

【パリ八日發電】信ずべき筋より聞く處によれば目下當地に於て開催中の賠償問題査問委員會本日の會合に於て、獨逸代表者ハト氏は獨逸賠償年金に關し第一年十二億馬克とし以下二十億を限度として毎年追加三十七年間支拂ふべき一つの案を提出した、然し右提案に對してフランス、イタリー代表は全然之を拒絶したと

內地行きの航空郵便も扱ふ
通常より一兩日早い
料金は朝鮮宛と同樣

今回開始された航空郵便の取扱は航空路が當分大連蔚山間である關係から滿鮮間航空郵便物のみに限られてゐたが內地行郵便物をも航空便に托送したいと希望する者が多いので遞信局では關係局と協議の上內地行通常郵便物に對しても蔚山まで航空郵便の取扱を開始することゝなつた、此の取扱によると月水金午前七時大連發の航空便に差出した郵便物は午後三時三十七分蔚山着直に自動車便により釜山に送り同日午後九時三十分釜山發の關釜聯絡便に積込むので通常の遞送方法によるより一日乃至二日速達することゝなる、なほ附加料金は朝鮮宛と同一である

關東州野球大會試合順序決す
參加チーム主將會議

本社主催關東州野球大會申込ティームの主將會議は九日午後零時三十分より本社樓上に開催、主催者側をはじめ國際運輸、南滿電氣、大連商業、工科大學、南滿工專、鐵道部、鐵道事務所、消費組合、青年會、沙河口工場の十チーム代表者參會、大會規定により

本年度 新に參加を申込んだ青年會の出場補につき討議を重ね決選投票を行ふことゝなり投票の結果八對二にて出場を否決したのは折角本大會に出場活躍を期して出場を望んだ同ティームに對して氣の毒ではあるが、已むを得ぬ次第である・次で大會に關する諸般の規定を協議した後・試合順序を決定し

組合せ は抽籤の結果用度、鐵道事務所、消費、滿電、大連商業、沙河口工場の六チー[ム]不戰一勝となり

試合豫定日程

十四日午前十時より選手入場式、優勝旗返還式、主催者の挨拶、大會會長の始球式の順序で開會同十時より、國際對鐵道部午後三時より工大對工專の試合ゲームを行ふことになつた、試合日程次の如く決定した

▲十四日（日）午前十時　(A)國際運輸—鐵道部
▲同　午後三時　(B)工大—工專
▲十五日（月）午後四時　(C)Aの勝者—用度
▲十六日（火）午後四時　(D)Bの勝者—鐵道事務所
▲十七日（水）午後四時　(E)消費組合—滿電
▲十八日（木）午後四時　(F)大連商業—沙河口工場
▲十九日（金）午後四時　准決勝　Cの勝者—Dの勝者
▲二十日（土）午後四時　Eの勝者—Fの勝者
▲廿一日（日）午後三時　決勝戰

出場チーム

鐵道部、國際、工大、工專、鐵道、工場、電氣、商業、消費 [illegible]

けふ午後二時より大連道場に於て
高松宮台覽
聯合艦隊歡迎柔劍道試合
◇……招待者の入場は午後二時三十分迄
◇……一般觀覽者は午後三時五十分より入場隨意
主催　大連市役所　滿洲日報社

石油疑獄事件
大審院の判決

【ワシントン八日發電】當地大審院はティポット、ドーム石油疑獄事件に關する一千九百二十四年の調査報告に就て該疑獄事件の張本人ハリイ・シンクレアー氏が上院の質問に答辯せざるを以て三月の禁錮を受けざるべからずと本日判決を下した

朝鮮郵船缺損
今期は無配當か

【京城發】恩田朝鮮郵船社長は過日來山本遞信局長並に海事課長等と今期業績及配當に關し打合せ中であるが仄聞する處によれば今期は約十一萬圓の缺損で之れを法定積立金中より補塡して蛸配當することは當局としては餘り歡迎せず寧ろ此際無配當を慫慂せる模樣であるから結局遞信局の肚一つで決定されるものと見られてゐる

大連市街の擴張費

大連市役所では市街擴張費として昭和四年度の臨時部に三十四萬六千四百五十一圓が計上されてゐるが、市外地接の會屯を市に編入するための豫算は含まれてをらない、市の土地整理、路面の改良、下水道の改良に新設工事等であつて本年度には譚家屯の如き其他は全部整理される豫定である

小學校專任醫の設置の考はある
武田學務課技師語る

州外各學校に滿鐵では醫大卒業生の醫師三名を採用し小學兒童の保健衞生に深甚の注意を拂ふことになつたが、武田關東廳學務課技師は右に就き語る

國民保健を徹底せしめるためには小學兒童の體育に就いて注意せねばならぬことは當然で、關東廳としては一ケ年經過をみた上で專任醫の設置をしたい考へはある、然し問題は兒童の保健に就いて專任醫が天職的の興味を有するかどうかゞ先決で、其結果非常に事務上の能率に影響すると想はれる、大連所管內に若し設けるとすると一名の醫師は三千乃至五千名は受持つことができるから少くとも三名は必要であらう、尚ほ小學兒童の就學前の體格檢査の如きも實施することはよいことであるから考へてはゐるが何分經費關係であるから仲々容易には行はれない

谷深藏氏死去
公共事業に百萬圓寄附

【熱海九日發電】肝臟病にて熱海の別邸に靜養中の大阪合同紡績社長谷深藏氏は八日午後八時四十五分逝去した、享年六十九歲、遺言に依り金百萬圓を遺產中より公共事業に提供することゝなつた

運輸改善打合

滿鐵々道部では九日午前九時より運輸改善の打合せをなしたが
一、プラットホームの上屋の構造について今後如何なる形式を採るか
一、三等車の改善に就て即ち實際的でない點があれば如何に工夫するか
一、兒童通學用としてのモーターカーを如何なる型のものにするか
一、事務用の觀察車即ちインスペクシミンカーを一輛建造するに就てのプラン
等につき協議し正午散會した

大連農會の屎尿取扱
純良物產價供給

大連農會では從來市よりの屎尿に對する支那人間の取扱上の弊害たる汚水又は雜物を混合し甚だしきに至つては其混合量數倍に達するの好手段を行ふため一般農家は極めて高價なる屎尿を購入してゐたが、斯く雜物の混入して居ない屎尿を供給し一般農家の福利を圖る目的を以て來る四月十日より左の方法により大連市より拂下を受けたる屎尿を直接販賣すると
一、賣買は凡て金票の現金賣とす、兩替の便を圖るため糞池事務所に兩替店の設備をなす筈であるが購入者は可成く金票を準備せられたいと
二、價格（一擔に付き）一月十錢、二月、三月は十二錢、四月十一錢、五月、六月十二錢、七月、八月八錢、九月九錢、十月、十一月、十二月十一錢
三、取扱時間　三月、四月午前五時より午後三時まで、五月より九月迄午前四時より午後三時まで、十、十一月午前六時より午後三時まで、十二月より翌年二月まで午前七時より午後三時まで
四、購入者は右時刻に西山會糞池事務所に至り係員に代金を添へて申込めばよいと

關東廳辭令（六日附）

休職小學校訓導　奧村俊信
任關東州公學堂敎諭 [illegible]

人事

▲松井兵三郎氏（第十六師團長）新駐任挨拶のため九日午後市內各方面を歷訪

安田稠子

天津の反日會が商人を泣かせ一般市民を苦めて儲けた金は莫大なものだが、其內から酒食遊興に使ひ自分等のポケットに捻ち込んだ殘りが今のところザツと五十萬元▲濟南事件が解決しても漢口の事件や天津の車夫、郵便配達殴打事件が未解決のかぎり排日は續けて行くと頑張つてゐるのも當然の話で▲反日を三日やるとやめられぬと云はれてゐる通りこんなボロイ儲けが今の世に又とあるものでないから假令名稱は變へても何とかして商賣を維持して行く肚▲ところで右の五十萬元だがこれは既に公表した以上何とかもつともらしく始末せねばならぬので、色々考へた揚句二十萬元で國貨研究所、他の二十萬で國貨工廠を創設し、殘りの十萬元を反日會の維持費とすると云ふ事にきめたとやら▲十萬元を使ひ果す間には又甘い鴨がかゝるのは請合ひだとは太い奴ども

大連市公報を添ふ

特產

◇定期後場（銀建）

▲大豆（敵調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　百五十一車

▲三等大豆（出來不申）

▲豆粕（敵調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
四月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　三萬八千個

▲豆油（敵調）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
四月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　一萬九千五百箱

▲高粱（鐵落）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　百四十五車

▲包米　出來不申

◇現物後場（銀建）

	寄付	大引
混保（袋込）大豆（裸物）	六〇六〇	六〇五〇
三等大豆（袋物／裸物）	五九九〇	五九九〇
出來高	四十車	
豆粕	二〇六〇	二〇六〇
出來高	一車	
豆油	出來不申	
出來高	一千枚	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

錢鈔

◇定期後場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　期近七十萬圓　遠期九十三萬圓

◇現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　銀對金一萬一千圓　銀對洋二千圓

商品

後場（出來不申）

神戶特產物（九日）

大豆現物、先物、豆粕現物、先物、滿洲小麥、豆油現物 [illegible]

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
四月	[illegible]	[illegible]
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]

東京米

東京株式（短期）

銘柄：東株、新東、當、品、五中、先、當、新豆、先、信、豆 [illegible]

銘柄：寄値、高値、安値、引値 [illegible]

大阪株式

銘柄：大株、新、大紡、新、鐘紡、新、日船、郵、新、東 [illegible]

滿洲日報
支那自身の反日否認

濟南事件解決交渉の一項目として、支那側は反日運動の取締を約し、又事實國民政府は反日會の解散を命じた。然しながら反日會自身及び、その存在を當然とする一部の人々は決してそれに服しやうとはしない。上海反日會の如きは「本會は中華民國と共に存亡し、打倒日本帝國主義の目的を達しなければ斷じて旗幟を撤廢せず、よし撤するとも他の名義を以て之に代ふべし」とて全國に通電した。

又穩健、眞面目な一部のものを除き、大部分の言論機關は筆を揃へて濟南事件解決と、排日運動との無關係を强張して居る反日運動の取締を國民政府側の日本に對する道德的義務と指摘し、且つその實行に就て多大の危惧あることに關しては吾等の既に率直に進言せし所である。

◇

之に依つて吾人は反日運動が如何に有効であるかを知つたのであるから、今後は何等の遲疑なく、之を力行して目的の貫徹に努めねばならぬ」といふ意味を言外に或は言内に含めて居るのではないか。

◇

かくの如き言論界の趨向は、然らば、絶對に憂慮すべきものであるかといふに、吾等は必ずしも然らずと答ふべき材料を持つてゐることを告げたい。即ち「腹が空つては戰が出來ぬ」と云ふ人間の通則の儼存することである。この世智辛い世の中に、殊に現實的である支那に於て、飯を喰はないでも戰爭をすると云ふやうな壯烈さがありやう筈はない。飯とは何か、云ふ迄も無く、經濟である、經濟界の安否を外にして、如何に唯我獨尊の反日會でも立ち得る道理が無い。今日迄商界が彼等の暴虐を隱忍して居たのは、要するに時機を待つてゐたのである。時機到れば決して、彼等の足下に屈服すべきものでないことは考へても明瞭であるが。最近はそれが明々白々たる事實となつて現れたではないか。

◇

見よ、上海に於ける商況を。時恰も武漢南京間の風雲急を告ぐる惡材料を控へながら、濟南事件解決の報一度到るや各方面共全く狂奔的活況を呈し、綿絲布、砂糖の如きは協定調印の入電と共に在荷は立處に消化され過去十年を通して曾て無き大景氣を見せ、排日の中心と目された漢口に於てすら、日支貿易は舊時の盛況を恢復するに至りつゝあるではないか。反日運動は民衆の要求なりと揚言する、狂妄者流は一體これをどう見るのであらうか。

こゝに於て吾等は始めて知る國民政府の取締力が如何であらうとも、又狂妄者流が如何に、空景氣をつけやうとも、人間の生活と云ふ儼然たる事實を味方とする、商取引は決して抑制され得べきものでないことを。只茲に問題となるのは、反日……

英皇室の御特使
グラスター殿下（一）
雄辯家、陸軍の宮、スポーツの宮

英國四皇子の內で最も御軀幹の長大でゐらせらるゝ方は誰かと英國民に質問すれば直にそれは第三皇子のデューク、オブ、グラスター殿下だと彼等は答へるだらう、實際デューク、オブ、グラスター殿下は御皇子中最も御立派な御姿を備へさせられて居るのである、今一つ殿下が英人に特別の印象を與へ給ふ點は其の御雄辯である、御辯舌の爽かなことは一は御頓才に富ませ給ふ爲めであつて、御談話中にも時々罪無き而も最も機宜に適した御諧謔や御警句を發し給ひ近侍の者の頤を解かせ給ふこともあるとか

ープリンス、オブ、ウエールス殿下と同樣御演說術に長ぜさせ給ふ爲め此の二三年來は殊に各方面の公式會合に台臨ありて、一場の御演說を遊ばされ、時々それが無線で放送され英國民衆一般に達し天下賞讃の標的と成らせ給ふて居るのである、又デューク、オブ、グラスター殿下は我秩父宮殿下の如く運動の愛好家で居らせられる、ソレに一面軍人でもあらせらるゝ關係で殿下の今日迄の御經歷は戶外生活を以て充たされて居ると言つて宜い。

◇

其の御立派なる御風丰と玲瓏たる御人格で、英國民のデューク、オブ、グラスター殿下を敬慕し奉る程度は非常なものである在英日本人も洩く殿下の御高德を仰ぎ奉つて居る、二月廿二日記者は在英大使館附陸軍武官事務所に前田侯爵を訪ひ、同武官が一二度デューク、オブ、グラスター殿下より拜謁の榮を得て居られるので、其の際の感想を叩いて見た、前田武官は語る

◇

私もデューク、オブ、グラスター、ヘンリー親王殿下には個人として御目に掛かつたことがございますけれども、別に親しく御話を伺つた譯ではございませぬ、英國皇太子殿下には日本以來屢々拜謁の榮を得て居りますので、殿下に就ての御質問ならば何か御答へも出來ませうが、ヘンリー親王殿下に關しては別段に詳しい御話も出來ませぬ、が御見上げ申すところ、ヘンリー親王殿下には御兄弟中最も逞ましい御恰幅で居らせられて如何にも武人らしい御姿を備へて居られます、殿下には現にフザー（輕騎兵隊）第十聯隊の大尉に在しますが、御承知の通り英國の四皇子中、皇太子殿下は陸海軍、次のデューク、オブ、ヨーク殿下には空軍、第四皇子ジョーヂ親王殿下には海軍に御修業を積ませられましたが、デューク、オブ、グラスター殿下は皇太子を除いては先づ陸軍の宮樣と申すべきでありませう、此の間は亞米利加方面に御狩獵に御出掛け遊ばしましたが、斯かる點からも推し奉り殿下が非常に快活なスポーツマンで居らせらるやうに拜察致します

【寫眞は馬上の御英姿】

中央執行委員會
常務委員を決定
三全大會後における
第一次の全體會議

【南京特信】さきに第三次全國代表大會に於て選出された國民黨の中央執行委員會は三月廿八日南京の中央大禮堂に於て委員の就任宣誓式を擧行す、續いて第三次代表大會後に於ける第一次の全體會議なほ同日及び四月四日の兩日の會議に於て左の如き決定を爲したを開催して中央委員會業務委員九名を左の如く互選した

蔣介石、胡漢民、譚延闓、孫科、戴天仇、于右仁、丁維汾、陳果夫、葉楚傖

一、民衆訓練委員會を廢止しその管掌事務を黨の組織部及び訓練部をして辨理せしむ
二、國民政府の僑務委員會を中央黨部の所管に移す
三、中央黨部に法規編審委員會を開き常務委員會より指名する委員七人をして組織せしむ
四、中央黨部に統計處を置き各部の統計科を廢止す
五、衞生科を廢止す
六、各部の法規審査事務は總て法規編審委員會の所管に移す
七、各省縣黨部の民衆訓練事務は組織部訓練部の所管に移し民衆訓練部を廢止す

を以て職業とする人種の生活を如何にするかの點であるが。善良なる者を苦しめて自己の生活を維持せんとするものは、何處の世界に於ても罪人である。罪人を處分するの途は極めて明瞭

敢て苦慮するの要を認めない。堂々國民政府を以てして之を爲し得ずとせば、それは、政府組織の能力の缺如以外の何者でもない。

增税に就て
對策協議
奉天城內で

【奉天特信】遼寧省公安局に於ては所屬官吏に四月より現大洋を以て俸給を支給する事と成りたるが白局長は之れが財源捻出に就て城內各居住者に對し從來の淸潔費を更に倍額徵收する旨通達したので一般居住民は苛税甚だしと目下之れが對策に就き協議中なりと

朝鮮博覽會
出品勸誘
關東廳と滿鐵で

關東廳殖産課商工係にては京城に於て今秋開催の博覽會に關して滿鐵商工課と協議の結果、關東廳及び滿鐵から滿洲に於ける特殊製造工業者の製品を出品せしめることに決定し、各會社に勸誘狀を送付し四月末日までに全部取纏めることになつたが、各地の商工會議所に對し出品希望者の調査方及出品の種類等に關し照會狀を九日送達した、右は七月中までに出品せしめるのであるが、輸送運賃其他の取扱ひは全部滿鐵及關東廳側で負擔すると

八ッ相
投書歡迎
中傷を目的とするのは採らず
新聞行數五十行以內のこと

西洋人をも取締れ
國粹保存主義者

最近大連警察當局の行動が非常識であり不徹底であるのは蔽い難き事實であるが、高松宮殿下御通路の取締りに就ても遺憾の點が少くないと思ふ、行通禁止の時間が必要以上に長いのは甚だ迷惑であり日支人に對しては通行を禁止するも西洋人の通過を見遁してゐるのは不快である西洋人でも日本の治下に在る以上當局の取締りに遵ふのは當然であつて肯かねば處分して少しも差支はない筈だ、大連の西洋人は治外法權の下に在るのではない、日本人一般が今日でも兎角西洋人を憚り彼等に對して事勿れ主義を採用してゐるのは情ない次第で、日本人はこの卑屈な狀態から拔け切らない限り西洋人共から水平線以下に見下さるゝことを知らねばならぬ、此機會において警察當局のみならず一般同胞に對して自重を促して置く

ラヂオ英語講座
大連放送局四月十日午後六時二十分放送
講師大連彌生高等女學校茶谷茂
第二回（第二週第二課）
英語の發音

6. I 日本語の（イ）に少し（エ）の加はつた音である。
pretty　women　busy　city
記號は(i)である。
7. I e 舌に力を込めて殆んど上顎につく位まで上げ（イー）といへば此の音が出る。
記號は(i)の右に點を二つ重ねる。
police　fatigue　seize　piece　knee
8. u oo 唇を丸めて口の奧の方で日本語の（ウ）の音を出せばよろし。
記號は(u)である。
pull　wool　could　should　worsted
9. u o oo (u) を長く（ウー）と力を入れて引けば此の音が出る。
記號は(u)の右側に點を二つ重ねる。
rule　fruit　move　pool　two
10. e 日本語の（エ）と同じ發音。
記號は(e)である。
hen　head　many　said　says　bury
11. o a 唇を少し丸めて稍大きく開き舌を下顎に引きつける樣にして（オ）といへば此の音が出る。
記號は(c)を倒にしたるもの。
dog　hot　cotton　not　wont　watch
12. c a 口を大きく開き喉の奧の方を擴げて(o)を長く引くと舌の位置は稍高まつてその奧の方から(o)の音が出る。
記號は(c)を倒にしてその右側に點を二つ重ねる。
port　pork　sort　wall　talk　cough

隨年大路上場
復活を交渉
長春取引所の惱み
滿鐵では形勢觀望

【長春特信】滿鐵の實施した混合保管に並行して支那特産商間に永年の慣習となつてゐる大豆の隨年大路は公主嶺・四平街、開原の各取引所では混保と併立して上場してゐるが長春取引所は大正十二年北滿の水豆に原因して上場を禁じ混保に合格すべき物件と限定されてゐたが、隨年大路はその年出廻り品の普通品を標準としたもので奧地に於ける取引はすべて此に據つてゐるので、長春取引所が上場を禁止したゝめに長春への出廻りに少からず影響を及ぼし取引所の出來高は激減したのみならず、北滿大豆で混保に合格しないものは、悉く逆行して東行する等の結果を招來したので、長春取引所では之が復活につき滿鐵に交渉を續けてゐる、滿鐵側に於ても必ずしも隨年大路の上場が混保制度に對する脅威でないことは略諒解してゐる模樣であるが、大連の特産商側から反對氣勢が揚がりはしまいかと形勢を觀望してゐるらしい

國民黨第三次
代表大會の宣言（三）
大會終了に方て發表

本黨は該北伐は總理の遺志を繼承し軍閥の餘孽を掃蕩し全國を統一する時期なりとして出師の初特に蔣中正を國民革命軍總司令に任じ專ら北伐を命じた、蓋し師の日中央黨部は軍旗を授けこれに軍紀を統一せしめ紀律を整し黨力を集中し以て殘餘の軍閥最後の死命を制する事にして大兵旣に出づるや二ケ月ならずして湖北湖南を合せ更に四ケ月にして江西、福建共に降り、江蘇、浙江、安徽諸省を次第に克復し、十六年三月に至り大江南北は完全に平定された、此戰ひの勝利は實に國民革命軍忠勇將士の協力と全黨の忠實なる同志及全國民奮鬪の賜である、共

產黨は甘んじて第三國際が掩護せる赤色帝國主義の指揮を受け本黨に混入して陰謀を以て操縱し、始めは北伐に反對して出師を妨げ次で本黨の軍事政治機關に混入して國民革命軍の勝利に乘じ、黨狀を散布し民衆を乖取し武漢に盤據し後方攪亂を逞しふして革命を破壞せんと企て、終には一部分の中央政治機關を把持して黨軍を壓迫し人民を慘殺し異分子を驅除し始めて國民革命により解放されたる湖南・湖北、江西諸省人民を又恐慌流血の域に陷いれた。◇

此時本黨は彼等の猖獗に鑑みて大犧牲を拂つて得たる國民的勝利を其牢固に任するに忍びず、四月都を南京に定め淸黨を斷行した、當時孫傳芳、張宗昌の殘餘勢力は依然として山東に在り北方軍閥は帝國政府を北平に保持し以て革命に反抗した、若し共產黨をして其異志を逞しうせしむれば革命の大事業は此の兩種反革命勢力に夾擊され失敗の危險に陷らんとした、故に諸黨の一擧は黨に在りては固有の野心を恢復し革命に在りては北伐の基礎を鞏固にするためであつた、其後國民革命の勢力は群衆群力を得て直に幽燕を揭げるは實は皆此が樞紐となつたのである、◇

淸黨以後本黨の勢力は完全に北伐完成に集中され蔣中正は再び總司令として繼續邁進し殘餘の軍閥に向つて狂擊を加へた、此時日本帝國主義者はその特に處の侵略の最後の項目消滅が目前に迫り闘極まりて七百現るゝを見て、山東に出兵し我軍民を屠殺し我城堡を轟燬し五月三日國際空前の慘案を演出するに至つたを發したと

戰禍繼續の
謠言傳り
遼寧省內の人心動搖

【奉天特信】武漢事件一段落の報に接したるも遼寧省人民は戰事終息とは信ぜず軍費兵糧の徵發が始まるとの謠言傳へられ、爲めに愚民の多くは避難準備又は家畜隱匿を行ひ秩序を滅す處あるを以て、主席は此程各縣知事に對し右樣の事なき樣周知せしむべしと訓令が下つたと

現大洋建採用
奉天支那質屋

【奉天特信】省城支那質屋業者は從來から奉票の貸出しを爲しつゝあつたが、奉票の暴落が愈に五千元緊を突破し益々經營困難を極めつゝあるので今回同業者相圖り現大洋建に改める事と決定し此旨當局へ認可請願中の處還大許可の指令が下つたと

滿洲日報 地方版

長春

會頭辭任せねば紛擾は解決せぬ

後任として有力なる◇……取信の山中專務

長春商議問題に關して笠井會頭は赴旅して關東廳の諒解を求める一方滿鐵本社を訪問し補助金の繼續を請願した模樣であるが、滿鐵は當初の聲明通り長春商議が現狀のまゝでは補助金の下附は出來ないと拒絶してゐるので會頭の赴連も何等の

效果を 齎さなからうと觀測する向が多いが、笠井會頭が議員會席上に於て商議の紛擾については自分に責任なしと言明したことは理事者として不謹愼なりとて一般の反感を買ひつゝあるが、市中に於ては現狀の紛擾を一掃するには結局會頭の辭任より外に途なしと見做し、大浦氏調停の骨子もこゝにあつたので關東廳側の意向も略會頭更迭に傾いてゐる模樣である、後任會頭としては黨派を超越した人物を物色し現在の議員以外から選擧することには殆ど

異論な き所である、最も有力視されてゐるのは山中取信專務であるが氏は溫厚の人物として一般の氣受けよく且多年滿鐵に籍を置いたので滿鐵側との折衝も良好であらうと見做されてゐる、山中氏もこの際多數議員が希望すれば必ずしも固辭しない意向であるらしい、氏は語る

自分は信託の仕事が忙がしいから商議の問題について深く考へてゐないが、然し長春に於ける商工業の中樞機關たる商工會議所があの狀態では誠に寒心に堪へぬ、兩派の議員があゝ感情にはしつて爭つてゐては到底何時解決するか判らない、折角

大浦氏 の調停があつたのにそれも物にならずに同氏が手を引いてしまつたのは遺憾である、然し姑息な手段で兩派の妥協を策しては最早駄目かも知れない、何時まで爭つてゐても無意義であるから何とかせねばなるまい

鐵嶺

三月中に於ける工業品の生産額

鐵嶺領事館での調査

鐵嶺領事館管內における三月中の主要工業品生產額は次の如し

品種	產額	價格(圓)
白米	六二五五石	一四、七五五
粟	一、三七〇石	二四、〇四二
豆粕	一〇、四〇〇枚	一九、五八〇
豆油	六三、五七〇斤	九、七六六
製麵	二、四六〇貫	二、二一四
製飴	二八五貫	八五五
菓子	六〇六貫	一、二二〇
計		七二、四三二

通江口の戎克動く

通江口運輸戎克船は去る三日より船卸を爲し特產船積中で南街埠頭は既に活況を呈したが第一便は六日營口へ向け發航したので鐵嶺商家市方面への船積特產も近く出廻るであらう

昇段試合出席

七日午前九時より奉天道場において行はれた長春奉天間滿鐵劍道昇段試驗に鐵嶺よりは久元三段介添として初段へ江橋、山本兩氏四段へ宮福氏出席受驗したが成績發表は廿一日頃だらうと

商議補缺指名

過日開催の商議々員會において評議員に當選した紀藤義也氏は都合に依り辭任を申出たので權太會頭は八日高田初雄氏を指名した

質屋の大洋建

當地支那質屋は今回從付利上共一切大洋建とし利息は五分なるが奉票なれば當日市中の換算相場に照して五分を徵することゝし既に五日より實施中である

在住內地人數

鐵嶺領事館警察署管內居住內地人三月末日現在數は二百卅戶七百四十七人であるが附屬地並に居留地を合しての鐵嶺居住者は戶數八九一、男一四六九、女一五三三計三千二人である

街路樹を植ゆ

通江口第三公安局は商務會と打合せ解氷後泥濘化して交通困難なる道路の修繕を爲しつゝあるが此の機において各戶の前に街路樹を植 [illegible]

貔子窩

成績期待される本年の棉花栽培

百餘町歩の作付豫定

從來餘り良好の成績を上げて居らぬ當地の棉花栽培も本年は峰岸署長、惠利總務課長の熱心な奬勵に依り昨年の五十七町步の作付に對し本年は百十四町步の作付豫定になつて居る、當地は大連旅順方面に比し幾分夜間氣溫が低下する關係もあるが本年は各派出所等との連絡をなし當局でも各會に [illegible] 培に關する講演をなす等之に勤めてゐるから本年の成績期待されて居る、尚本年は當地の普通學堂に奬勵試作として學堂十坪以上十九學堂二反四 [illegible] 試作をなす筈である

安東

早や春の訪れに鎭江山の人の群

櫻も昨年よりは早く天長節頃には滿開か

安東も四月の聲を聽くとそろそろ春めいて來て郊外散策を試みる [illegible] なる、わけても本年は例年 [illegible] の訪れが早く七日の日曜の [illegible] [illegible] る、次がアンズ、ツツジ、櫻であるが此の氣候からせば今年より四、五日早く何れの地も昨年同樣で櫻の花見も昨年の滿開時五月一、二日に先立つ五日前卽ち廿五日頃から綻び廿九日の天長節頃には滿開であらうと云はれて鎭江山が沿線各地の花見客を吸ひ寄せるのも今暫くの時であるが滿鐵は是等觀客の便宜を計る爲め研究しつゝあり、本年も櫻の苗五百本を西相山に植ゑつける事になつてゐる

家族のピクニック

[illegible] 學生の輕快なユニホーム姿 [illegible] 人の團體等約四百の人出と [illegible] 人間界の消息を他所に山は [illegible] 春の氣分を一パイに漂はし [illegible] 見る服はひを呈した、打ち [illegible] 公園は快晴に惠まれて久し [illegible] の客を喜ばしてゐる、今咲 [illegible] てゐる花はレンギヨでその [illegible] 容姿で全山を埋めるのも二 [illegible]

歸還兵の慰安

來る十九日內地へ歸還する [illegible] 部隊將卒の慰問につき八日 [illegible] 時より地方事務所會議室に [illegible] 各方面代表の協議會を開催 [illegible] 記念品の贈呈等は止め慰安 [illegible] 催して在住者と共に一夕を [illegible] とゝした、卽ち十五日には [illegible] 以上を公會堂に招き午後 [illegible] 在住者と共に晩餐宴を開く [illegible] 興としては藝妓の手踊そ [illegible] 演藝を催すが在住者にして [illegible] 席の會費は金二圓である [illegible] は下士以下全部を之が公會 [illegible] 待し素人演藝藝妓の手踊 [illegible] 曲を演じ一夕の歡を盡す [illegible] については九日同係員會合 [illegible] 合せをする筈である

行路死亡者

熊本縣生れとのみにて本籍 [illegible] ぬ渡邊西造(五〇)は極度の [illegible] に陷り去る三月初め奧地新 [illegible] 小子站の大山爲造方を頼り [illegible] より厄介になりそれより法庫驛に [illegible] 童子鮮人安道文方にも二三日 [illegible] になつたが病勢は進むし所持金一文もないところから安は部落の人々と相談の末鐵道沿線に送せば邦人も多數あること故何とか方法もあるだらうと去る六日午後十一時馬車を雇ひて之れに乘せ支那人德廣覺をつけて新臺子へ [illegible] たが渡邊は極度に衰弱した上十時間馬車に搖られたため終に痲痺を起し同夜十二時近く新臺子朝日町一丁目へ到着した時に既にこと切れてゐたので翌日鐵嶺醫師同道警官出張檢視した上死體は行路病死者として地方事務所へ引渡し事務所では新臺子共同墓地へ假埋葬した

釋迦の誕生祭

[illegible] は新舊の違ひこそあれ釋迦降誕に當るところから各地にては等の催しあつたが鐵嶺佛教團は舊曆四月八日に誕生會を催す [illegible] 當日の行事については其の內 [illegible] せ會を開く筈であると

新義州

普通學校増築で木材界賑ひ出す

本年度の分だけでも約六萬尺締めの需要

總督府の方針に基く公立普通學校の一面一校主義は今年度から實施することゝなつたが全鮮を通じ一千七十四校が昭和十一年度迄に完成する計畫になつて居 [illegible] 本年度に設置さるゝ分だけでも四十校の見込みである、これ等唯一の需要は先づ木材であるが學校の建築に要する材木は二百尺締乃至五百尺締で今年だけでも六萬尺締內外は例年の以外に需要を見る譯である、此の用材は大抵各地元に於て其需要を滿たすであらうが不足分は地方に注文あるべく見越され、さらでだに當業者は今年度の賣行きを見るであらうと下して居るから木材の生產地方新義州では早くも活況を呈してゐる

公主嶺

聯隊歡迎宴會

公主嶺駐箚騎兵第二十聯隊の官民歡迎宴は六日午後五時公會堂に開催、久保田地方事務所長の歡迎の辭に安藤聯隊長の答辭ありて閉宴、各種の餘興に盛會を極め散會した

開原

蠟山氏講演會

開原地方事務所では東京帝國大學教授蠟山政道氏を招聘し九日午後七時小學校の講堂に講演會を開催當日の演題は(現代文明と行政の價値)にして氏は新進の社會思想家であつて雄辯家をもつて知られてる博學多趣味の學者で我國太平洋問題調査會の委員を務めてをる關係上該問題の一部門をなす滿蒙問題に關し在滿邦人と意見の交換をしたき希望につき講演會後座談會を開催すと

鐵道の警備演習

在鄕軍人驛員も參加

獨立守備隊の鐵道警備演習は十日鐵嶺附近を中心に擧行さるゝ筈で當開原第一中隊の大部分は之れが爲め最少限の人員を當地に殘留して出動する事となつたので當開原の警備を在鄕軍人分會の組織する防備隊の出動により維持する演習を行ふ筈であつたが當日は在鄕軍人分會役員及び幹部諸氏同日午後一時公會堂に集合し同二時より警備演習に參加する事となつた又開原驛員十數名も參加する事となつたと、當日の演習は午後二時より六時頃までである

蠟山氏講演會

東京帝大教授蠟山政道氏の特別講演會は既報の通り七日午後七時より公會堂に於て開會「現代文明と行政の價値」なる題下に滿蒙の特殊權益と邦人の發展に就て行政上の見地より有益なる講演あり九時盛會裡に散會したが散會後同所に於て同氏を中心に川崎久富杉ノ原佐藤其他有志の座談會あり滿蒙に關する根本問題より日本朝野の意見乃至英米諸國の論調等につき意見を交換し十時半散會した

永野校長着任

新任開原小學校長永野善三郎氏は七日午後四時五十分着急行列車にて前任地熊岳城より着任

撫順

炭礦工務關係の主なる新規事業

七百七十萬圓を投じ各施設を改善する

工務事務關係のみの新年度諸工事費は既報の如くであるが年額約八百萬噸の出炭をなしつゝある大世帶撫順炭礦全體四年度の新規事業の建設費は總計七百七十萬圓であるその內譯は

古城子坑二百三十萬圓、製油工場百十萬圓、發電所百〇三萬圓、工務事務所直屬の事業費六十萬圓、大山坑二十萬圓、東鄉坑三十萬圓、楊柏堡六十萬圓、老虎臺十萬圓、龍鳳坑四萬圓、煙臺坑十二萬圓、機械工場六萬圓、運輸事務所十萬圓、經理課十萬圓、庶務課五十萬圓、調査課室二十五萬圓

等である、而して新規工事の主なるものは左の如くである

△古城子坑は露天掘擴張の爲チヨベル一臺、ダンプカー四十臺の增設費約七十萬圓及び露天掘の剝岩作業に伴ふ剩岩の捨場たる計算屯までの從來使用してゐた蒸氣機關車は舊式のもので故障頻出能率を甚だしく害するので是を電氣機關車に替へる總經費約百萬圓

△發電所は第三發電所の完成以外新發電所に二萬五千キロワツトの發電機二臺の購入費及び新發電所の建物の建築費等その他に百〇三萬を要するので是は露天掘の擴張及出炭激增に伴ひ炭礦自體の電力を從來に倍加して要する上現在のモンドガス發電所が大山坑の掘進に伴ひ基礎に龜裂を生じ同發電機が使へなくなるに備ふる爲目下は奉天、開原、鐵嶺その他送電線により安價なる電力を供するために新設されるものである

△楊柏堡チヨベル一臺、ダンプカー十五臺、捲上機一臺新設その他に約六十萬圓を要する

△製油工場は三四年の繼續事業として八百五十萬圓を要する大工事であるが是は殆んど完成に近づいたので四年度の分としては三年度の工事の完成及びオイル蒸溜工場の新設及び副產物たるパラフキンの結晶裝置その他に百十萬を要する

△東鄉坑は注破損、選炭機の增設等に約二十二萬圓その他合して三十萬圓を要する

△庶務課に屬するものは永安臺煙臺に新築する社宅の經費三十三萬圓及び公會堂新築の費十三萬圓その他で五十萬圓

△運輸事務所は露天掘から製油工場までのセールを運搬する線路の新設に約十七萬圓、大山南坑からの出炭を大官屯驛に至る本線につなぐ支線の新設費十萬圓特種トレーラーにモーターを附加する經費五萬圓等その他で廿五萬圓を要する

△工務事務所直屬のものは工業用水地の新設、飲料水濾過機四臺の增設費等卅五萬圓、新設市街の地ならし、道路修繕、下水修理に十二萬圓、北臺町の暖房設備のボイラー新設その他に十二萬圓その他合して六十萬圓

△煙臺は茨兒山の新坑開鑿費に九萬圓、その他合して十二萬圓

連日に亘る强盗竊盗の被害

支那當局の不誠意に犯人は何れも捕れず

最近連夜の如く古城子露天掘一帶に亘り十名乃至、十七八名の强竊盜團出現、番人を脅迫毆打の上使用休止中の機械類、鐵材、石炭、機械油等を手當り次第に掠奪竊盜する者あり是等は何れも支那町方面から夜に入りては流れこむらしいと

盜賊團闖入す

撫順歡樂園五十六號吳服商王振西(四〇)方に七日午後八時夜盜賊團忍び込み金票八十二圓、奉票四百八十三圓、藍木綿四疋時價金票四十圓、花模樣木綿八疋時價五十圓その他合せて金票三百圓のものを竊取逃走した

春季謠曲大會

撫順喫鳴會主催の春季謠曲大會は來る二十一日午前八時より西公園前俱樂部舞臺にて素謠大會を華々しく開催

自轉車盜まる

七日午後十一時十五分東三條五十九番地山陽樓の炊事場に曲者忍び込み藝妓の寢室を襲はんとしたるも果さず行きがけの駄賃に撫四五三の自轉車を盜んで逃走、又同日中央大街二九番地飲食店夜明こと柳川カネ(三四)方の自轉車一臺も何者にか乘逃げされた

アンペラを盜む

七日午後三時老虎臺煉瓦工場伴善太郎方に賊侵入アンペラ新品九十枚時價四十五圓のものを竊取逃走

麻繩で家人を縛り上ぐ

七日午後七時頃楊柏堡村落の豪農喬立盛(四五)方に黒帽に面部をかくせる三十歲位の二十六年式拳銃所持の首魁中折帽を眞深にかぶれるブローニング拳銃所持の副頭目その他合して八人組の持兇器强盜押し入り、家人悉くを殘忍にも所持の麻繩にて高手小手に縛り上げ金品多數を強奪訴へると嚇殺しにするぞと威嚇しつゝ折柄の闇に惡鬼の如く消え去つた、被害金額も多額に上る筈で目下實地險證其他調査中故發表されないが警備薄きこれ等の地を襲ふ夢魔の如き强盜團には警察當局でも人員不足の爲困つてゐるが當局では日本側が如何に努力しても日支兩官憲の協力一致の實現不可能なる以上斯かる兇賊團の掃滅は目下の處困難であるといつてゐる

遼陽

補習校修了式

遼陽實業補習學校では十一日午後七時から小學校講堂に於て第十八回修了證書授與式及び新年度第一期入學式を擧行すると

芥子栽培嚴禁

遼陽縣知事石秀峰は省政府の訓令なりとて縣內各村長に示達したる處に依れば遼寧省が國民政府の通達に基き禁煙令の實行を期し居る折柄若し芥子を栽培する如き者あれば本人を嚴罰に處するは勿論村長は罰金現洋百元副村長八十元所轄警官罰俸三ケ月に處す旨布告した

送別土曜會

遼陽土曜會は今回沙河口工場技師長に榮轉し [illegible]

奉天

人事

▲久保公主嶺地方事務所長は宮地師團長に告別挨拶の爲八日來遼
▲青木公主嶺警察署長同上

[illegible] た田島義治氏の送別を兼ね十一日午後六時から滿洲ホテルに於て例會を催すに付出席希望者は十日迄に當番幹事白島(電二三三)飯泉(一五五)迄申込まれたしと

醫大本科入學者

七名合格發表さる

滿洲醫大本科一年の入學試驗は既報の如く先月下旬豫科の入學試驗と同時に施行されたが受驗者廿三名中左記七名が合格に決定し八日發表された

矢野四郎(松山高校)尹明相(三高)金子眞二(八高)平野岡松(高知高校)池田謙一(同上)伊藤英策(靜岡高校)上村武一(臺北高校)

猶入學式は本月廿日頃擧行される筈で又豫科合格者は來る十三日朝發表の由

處罰方を出願

千代田通五方銀號を襲擊した七人組の馬賊を教唆した黑山縣某大官に對し同銀號主人の弟楊佐臣は八日奉天總領事館警察署に對し處罰方を願出た

町の便り

大北關第三小學校教員周常來は宿直の當夜外出した間に綿布大皮等價格奉票一千元を何者かに竊取された

◇過般來數名の苦力を督勵して改修工事中であつた滿洲醫大のグランドは八日完成したので好日和を幸ひ各種競技の猛練習が開始された

◇同大學では一般運動奬勵のため運動に趣味を有し練習を希望してゐるものゝために各種運動用具を無料にて貸與するにつき希望者は遠慮なく練習されたいと

◇教育內兒童讀物調査會の第十一回例會は十二日午後三時から同校に於て開催されることに變更された

◇奉天中學校では八日午前七時五十分から始業式十時から入學式を施行、高女校では同日午前十時から始業式を擧行したが入學式は來る十四日午前九時から施行の筈

◇國際聯盟衞生課員醫學博士鶴見三三氏の講演會は十日午後四時から醫大にて開催されることゝなつたが演題は未定である

◇八日の奉票は支那側の新奉票依然として濫發してゐる說に人氣軟弱で四千六百元臺から四千八百元の間を往來したが五千元臺の現出も近きうちであらうと

◇朝鮮鎭海灣頭に建設される日本海々戰紀念碑に對し太田奉天地方事務所長百三十四名は寄附金を一纏めとして寄贈する處があつた

◇去る六日新區長の初會議を開いた結果上田統氏が區長總代、入江英一氏が會計と決定せるが其他の區長代理をも決定し從來の區役員は之に依つて廢し事務は町會長又は [illegible]

[illegible] 副會長が執る事と成つた

◇滿鐵社會課で懸案中であつた社員の常用服を安價に仕立るべくいろいろ攻究中の結果普通セビロ服三ツ揃にて金三十三圓八十三錢で消費組合にて調製する事と成り市中洋服屋サン大恐慌を起す

人事

▲水町守備隊司令官 八日本溪湖より過奉遼陽へ
▲中野鄕家屯領事 八日來奉
▲櫻井遞信局長 八日大連より來奉
▲粟野滿鐵吉林公所長 八日朝來奉
▲鮫島煤鐵公司總辦 七日來奉瀋陽館
▲瓜生正金開原支店長 七日夜歸任
▲玉木滿紡專務 七日歸連
▲大連彌生高女生五十四名 八日朝內地より過奉歸連
▲長春高女生卅七名 同上歸長
▲山本直太郎氏一行 八日來奉

旅順

旅順工大豫科の本年度の入學者

九日から新學期開始

旅順工科大學豫科本年度の選拔試驗に合格したものは左の如くであるが、九日から第一學期授業を開始すると(括弧內は出身校所在地豫備科は豫備科修了者にして無試驗入學者である)

荒井滋(橫濱)伊庭喬樹(廣島)井野昌治(廣島)伊福榮一(旅順)今淵建壽(福岡)岡崎公男(愛媛)奧村竹三(島根)越智鄕郞(愛媛)郭玉成(豫備科)加藤孝夫(大田)川村泰治(京城)久德泰一(愛媛)菊地正(大連)北澤邦久(東京)木村章三(京都)國原忠夫(廣島)黑川偉(鹿兒島)上妻宗敬(旅順)古賀正友(福岡)越口景男(旅順)後藤西夫(熊本)小林周次郎(大連)紺谷一男(大連)小盛正之(廣島)佐田三三男(兵庫)佐藤弘治(山形)宍戶進(愛知)市東市之助(千葉)澁川陸雄(福島)周連絨(豫備科)水津一久(旅順)鈴木敏夫(奉天)鈴木實(靜岡)須藤良雄(愛知)曹善棠(豫備科)高倉正明(龍山)高橋滿壽男(兵庫)谷一郎(福島)田幡桂三(和歌山)出淵進(大連)陳仲(豫備科)津田健吾(和歌山)津山豐雄(撫順)豐島十郎(山口)東島和夫(大連)時田新吉(富山)永野作(大阪)西川滿芳(石川)西原誠(福岡)林春三(廣島)林不二太郎(佐賀)林三樹男(東京)堀谷良平(大連)松浦英夫(德島)松下憲次(京都)水谷三郎(兵庫)宮川俊介(撫順)宮下尙守(群馬)村上保參(福岡)村上幸良(和歌山)森田傳一郞(群馬)森屋進(奉天)柳原諱吉(愛媛)山尾倖治(島根)山口元(佐賀)山田直正(愛媛)山中正直(兵庫)橫田義夫(大連)王傑斌(豫備科)渡邊正任(福岡)

行商人の許可願一月以來一千人

一日で三日の生活費 下級の支那人には好適業

結氷期から解放された滿洲には支那人の露店商人及び行商人のシーズンが來た、一、二の二ケ月は少いが三月になつてから

頓に 許可願を出すものが多くなり一日三、四十名の願出である、其の種類は玉子、菓子、小間物、銀細工、字書、饅頭の行商に古物、屑物買で一月から四月八日までに古物直し行商六十六、古物買五十六、一般行商七百三十三、露店廿四で約一千名以上に達してゐる、彼等は一日の生活最低十五錢から最高廿錢で宿賃は三錢乃至五錢、一日市內を廻ればうまく行つた時は三日分位の利益は揚げるので一ケ年の後は少くとも百圓以上の

金を 貯めてゐるとの話、大連方面では最近非常に增加して乞食も亦多くなつたと

御警衞を應援

高松宮殿下の御警衞及聯合艦隊乘組員の上陸其他のため旅順警察署から八日吉川警部補は二十名の部下を引率し大連へ應援のため出發した、十日は三浦警部補が向ふと

支那語講習會 大連旅順で開く

關東廳學務課では支那語講習會を大連朝日尋常小學校、伏見臺公學堂の二ケ所及旅順師範學堂に於て本月五日から七月末日迄を第一期八月から十二月を第二期として每日午後七時から二時間に渡り初等及び高級の二科に分類して敎習することになつた、旅順では渡會貞輔、王益三、栁拔の三氏が敎師に選任された、右講習會の奬學資金として國費四千七百圓が計上された

人事

▲藤岡警務局長は聯合艦隊の大連碇泊のため關東廳長官代理として旅大間を往復することになり其の日程は七、八兩日大連ヤマトホテル宿泊、九日正午歸廳、十日朝大連へ出發一泊、十日朝大連發歸旅十二日旅順、十三日午前大連へ向ひ一泊第十四日は同師團長の送別會に列席十四日は同師團司令部の內地歸還を見送ると

▲立川警視(奉天警察署)八日來旅、藤岡局長に馬賊逮捕狀況を報告し署員に對する賞與を支給され午後奉天へ歸署

▲福島榮彥氏(工科大學豫科助教授)三日から五月二日の一ケ月間京都下京區本町の鄕里へ轉地療養

大連將棋聯盟特選

滿日五人拔戰

(二ノ五) 平手 二段 △野口初雄 先番 二段 ▲福村儀一

▲福村君 持駒 金步

(盤面以下の手順)

▲四二金△五三飛▲六五步△一四步▲四三金△同飛▲同龍△五三銀引▲二二飛△三一金▲二四飛成△一九馬▲三四龍右△三三步▲二四龍△四二香

對局者の實感

(福村君曰く) 四二金のところ、四三步と打つて攻めやうかと思つたが、四一步とうけられると、面倒なやうな氣がしたから、直接四二金と打つて攻めてみた。

(野口君曰く) 五三飛のところ、四六步とやりたい氣持もしたが、敵に輕く四八步とうけられると、五五桂が捌けないから、譜の如く指したのは餘りに强すぎたかも知れぬ

(福村君曰く) 少し調子に乘りすぎて二二飛車と輕卒に下ろしてしまつたが、三一金と防せがれて驚ろいた。

(野口君曰く) 三一金と防せぐ順が出來ていくらか樂になつた。駒得を圖る意味に一九馬と指したが、手應い所で讀めなかつた。

(福村君曰く) 三四龍右と取つた手は大失策でした。斯ふなると敵にどふしても飛車を一枚渡すことになつて形勢が逆轉しそふになつた。

觀戰雜記 宮本 金三

福村君が二二飛車と打つて、三一金と凌がれたゝめに、形勢が幾分か惡くなつたやうです。玆は三一飛と打つて置けば殆んど中押しの形でした。支那の古棋書に、滿を持して放たず敵の情氣の至るを待て……といふ言葉がありますが、この二二飛打の如きは、蓋し思ひこゝに至るものがあります。次の三四龍右は全局に影響を及ぼす程の惡手でした。

鞍山

山溝の山火事

五日午前十一時半方家屯會山溝屯の松林に山火事、失火の原因は淸明節のため村民が墓參の際紙を燒いた爲めで四町步の松林六十株が燒失し損害約三十圓であつた

管氏の結婚

鹽業試驗場員管辰雄氏は鄕里熊本縣內田辰熊氏の長女と華燭の典を擧げ六日午後五時から泰豐樓にて其の披露宴があり高橋場長の挨拶に東畑氏の祝詞、岡野氏等の鶴龜四海波の素謠に九時盛會裡に散會した

地方委員例會

鞍山地方委員會では十日午後一時より地方事務所に於て例會を開き左の件に就き協議すると

一、昭和五年度公費豫算概算の件
一、聯合議會に提出すべき議案に關するの件
一、戶數割追加賦課の件

實業委員協議

[illegible] では八日午後一時より實業協會事務所に於て實業委員會を開き關東廳を訪問した、加藤政人、大惠新治郞、菊地龍助の三氏より報告及び其の他の件に就いて協議する處があつた

賽錢專門の泥棒沿線各地を荒す

最後に大石橋で捕る

鞍山智慧寺、天理教布敎所、妙心寺等の三ケ所に五日夜賊が侵入し賽錢箱の賽錢を竊取した事件があつたが當局では直に各所に手配し犯人逮捕に努めて居たが犯人は七日午後十時三十分頃大石橋神社の賽錢竊取中同地警官に取押へられ鞍山での犯罪を自白したので八日刑事附添ひの下に來鞍し前記被害個所に就いて實地檢證を行つた、この男は奉天大南關生れの住所不定無職張金祥(二一)と言ひ賽錢專門の泥棒で五日の朝遼陽より來鞍し午後九時頃より十二時頃までの間に窓硝子を破つて侵入し賽錢を竊取し神社で夜を明かし遼陽に逃れ更に一仕事なさんと大石橋に至り前記の通り逮捕されたものである

艦隊乘組員製鐵所視察

大連港に入港した聯合艦隊旗艦長門の乘組將校十五名は八日午後一時三十八分着急行で來鞍し製鐵所を見學した、又谷口聯合艦隊及大角第二艦隊兩司令長官一行二十五名は十日來鞍製鐵所及大孤山採鑛所を見學する筈である

除隊兵の見學

遼陽步兵第五十聯隊の滿期除隊となる下士卒約三百名は來る十二、十三、十六、十七、十八の五日間に亘り鞍山製鐵所を見學すると

守備隊を慰安

鞍山守備隊の任期滿了で本月末離滿する下士卒四十三名に對し在任中の勞苦を犒ふべく十一日午後一時より地方事務所に於て區長會議を開き慰安方法の打合せをすると

伊豆井校長出發

鞍山小學校伊豆井訓導は今回熊岳城小學校々長に榮轉、八日午前十時四分發列車で出發したが驛頭には林所長始め小學生及び官民多數の見送があつた

濟生會に寄附

鞍山北三條町吉川牧場の景品付大賣出しに製鐵所庶務課勤務の川澄由之助氏は二等景品金三十圓に當籤したので其の中十圓を濟生會に寄附した

大石橋

各區長決る

各區長共本年は改選期の處協議決定し左記の通り推選決定した

南區 星元太男
中區 西島常次郎
北區 山口鐵之助

谷口校長着任

開原より當地に榮轉の新任校長谷口良友氏は七日着任驛頭には學校生徒並に官民多數の出迎へがあつた

良藥に國境なし

眞價は遂に認めらる！

「良藥に國境なし」恐るべき老衰病たる動脈硬化症と之に基因する腦溢血、中風中氣、腦充血の治療藥として海貴來が呱々の聲を擧げてより未だ數年、其間無數の同種藥出でたりと雖本劑の聲價は隆々として月に日に興隆し、內地は勿論海外に於ても信仰的愛用者を續出して眞價を中外に强調してゐる。海貴來は何故にかくも發展したか？この答へは到つて簡單である。即ち實效！　藥劑の眞價は實効の二字に盡きるのである、全國海外幾萬の海貴來愛用者が、いかに老衰の苦痛煩悶から解放され春日の如く悠々たる健康に惠まれたかは想像するだに嬉しき限りではないか!!　腦溢血體質の人よ、中風遺傳性の人よ、高血壓動脈硬化の憂ある人よ！直ちに來つて本劑を試み壯者の如き健康を獲得されよ！

突如として襲來し壯年季の貴重なる生命を奪ひ去る腦溢血、中風症の原因は動脈硬化による高血壓であります、血壓の病的昂進によつて血管が破裂し、瞬時にして幽明境を異にするのであります。即ち腦溢血、中風症の恐るべき老衰病を防ぐ唯一つの道は血壓を降下せしめ、動脈を軟化せしむることであります。これには海草精劑の服用が最も安全であり有効であることは斯界の定說であります。「海貴來」は高等有殖海草の精粹を抽出し、之を基本として創製されたもので、本劑服用によつて早發老衰病たる動脈硬化症及び血壓亢進を原因的に下降せしめ、中風、腦溢血、ちうき、腦充血を治療し、又一つは神經系統の健全を促し、腦神經衰弱、神經痛リウマチス、ヒステリー、心悸亢進症、頭痛、不眠症、便秘、利尿、肩のコリ、腰痛を回復せしめ、副作用全くなく、老人は勿論壯年季の人にも絶好の治療藥として好評湧くが如きものがある。

●病理に關しては治療及豫防を詳しく說明した「健康への道」と云ふ册子を新聞名記入御申込の方へは無代進呈致します

腦溢血中風症の自覺症狀（左記容體の人は注意してすぐ海貴來をのめ！）

◎耳鳴がする、めまいがする、便通が少い
◎肩がこる、のぼせ易い、どうき息切れがする
◎首筋から頭に吊る、頭が重い、頭痛がする
◎記憶が惡い、精力性慾が衰へる、感情が昂奮する
◎不眠症となる、しびれ引つりがする、小便に近い
◎萎縮腎を併發すると蛋白が下り尿毒性を起し易く手足や顏に時々水氣がくる
◎血壓が昂進して百五十ミリ以上となる

注意——かういふ容態が續き之を放任すると遂には腦卒中、中風となつて頓死するから急ぎ海貴來を服み安全を圖り給へ！

世界的販路を有し大日本帝國及び其領土は勿論北米合衆國、英領、蘭領、米領、中華民國まで同病者間の高評を受け多數の實驗者と多數の感謝狀を有す、近頃海貴來の偉大なる聲價を羨み急造の類似品續出す御注意を乞ふ、海貴來は到る處信用ある藥店にて販賣す萬一品切の時は類似品を用ひず直接申込れよ急送す藥價百九十二錠入二圓、四百八錠入四圓、六百四十八錠入六圓、千二百錠入十一圓、二千四百錠入二十圓郵便カワセ又は振替にて註文送料十二錢代金引換小包希望者は送料三十錢切手にて必ず前納の事

東京市本鄉區菊坂町五十二番地
日本總發賣元　河合洋行
振替東京四六一八二
電話小石川五一一二

代理店
大連信濃町（市場前）
日新堂藥局
電話六二三八番

良藥に國境なし

コドモページ

懸賞童話 ― 佳作
「桃色の光」（三）
沼田冬子

「もう電燈がつきさうね、やめない事？」「さうだね、おそくなると母さんにお目玉だ」
かへろ、かへろ、と
なに見て、かへろ
庭の築地の
影を見い見いかへる
かへろがなくからかあへろ
おしまひの「かへろがなくから」を特別大きな聲で歌ふと、みんなでワツハツハと聲をそろへて笑ひました。
「オツホツホ」お姉さんだけ特別にお上品に笑ひました。みんな仲よく手をくんで居るのが、道の角まで來ると一人々々手をはなしてサヨナラ／＼と別れて行きました。
「又明日ね、ぢやサヨナラ」
「あばよ、しばよ、金杉よ」
「日高さんさよなら」
「さよなら、明日ね」
とう／＼一郎とみちこと角の人達四人になりました。其れも角の家の前まで來てゐるのですぐ別れねばなりません。
「別れたくないナ」お姉さんの弟が一郎のうでをしつかり握つてはなさないのです。
「私の家へよつていらつしやいナ」
「でも歸つて母さんに聞いてこなければ、叱られるから……」
「ぢや、聞いてね、キツトいらつしやいナ」
「えゝ約束してよ」
四人の影が二人づゝに別れました。南山にかゝつて居たお日さんが靜かに四つの頭のサヨナラを見てました。一郎とみちこはお家へかへると、まづ聞きました。
「母さん……角のお家へ行つてもよくつて？」
「何故？」
「だつて角のお姉さんきつと遊びにいらつしやいつて云つたんだもの、そして私達もう行きますつて云つて來たの」
「仕様のない人達ね、ぢやなるべく早く歸つていらつしやいよ」
「ハイ」二人はよろこんで出かけました。角のお家の人はやつぱし支那の人でした。お姉さんは黄色いドンスの、弟さんは水色の、支那服を着て赤いしゆすの布ではつた椅子にこしかけて居る時、まるでおとぎ話に出てくる大きなお人形さんの樣に見えました。
「今日は面白かつたね、鬼ごつこをして……」
「又明日もスケートにさそつて下さるでせう、ね一郎さん」
「えゝ、だが鬼ごつこもいゝけれどみちこちやんのおづるさんがゐるからつまらないや」
「兄さんこそづる坊のくせに」
四人の笑ひ聲があたゝかい部屋の空氣をうごかして、窓ぎわのスチームがじいく／＼あせばんで居ります。
「やあ、三日月さんが出たよ」
面白い支那の繪本を見てしまふと一郎と少年は立つて、ガラスごしに空を見上ました。
「漢口のお月さんもこんなに光つてたよ」
漢口は少年の生れた土地の名前なんです。月を見て居る二人の少年も、頭をくつゝけて繪本を覗いてゐる二人の少女も、本當に仲良くなつてゐました。そして桃色の光は何時もの樣に平和にゆらいでゐました。（をはり）

しなば茶
世界一の怪火山

太平洋のまん中にある布哇島にマウナ、ロアといふ世界第一の物凄い火山がある。この火山は山全體に幾百か幾千か數へ切れないほど澤山な噴火口があつて、そこからドロドロに熔けた熔岩を晝となく夜となく絶えず噴き出して居て實に物凄い光景であるといふことです。

ニドメノ大チャンノタンケン（36）
ハルミチ作　ジラヴ畫

モリノマワウハ　大チャンノセンスイテイヲミテ「キット　ダレカガ　オレヲセメニキタノニ　チガヒナイ、ヨシ、チカヅイテキタラ　ヒドイメニ　アワシテヤラウ」トオソロシイコトヲカンガヘマシタ

コノヤマノウヘニハ　オホキナイケガアリマシタ。ソシテ　ソノミヅノ　ナガレデルクチハオホキナイシデ　トメテアリマシタ。モシ　コノイシヲトレバミヅハ　オソロシイイキホイデタキノヤウニナガレデルノデス

マワウハ　コノイシニ　テヲカケテ　大チャンノセンスイテイノ　チカヅクノヲ　マチカマヘテヰマシタ。ソンナコトハユメニモシラナイ大チャンハ　ダンダン　シマニ　フネヲ　チカヅケマシタ。

學校と家庭

新入兒童のお母様方へ……（三）
友だちや先生に關してのいろ／＼の注意
千葉八枝

交友上の注意

之まで家庭を中心として狹い範圍で遊んでゐた子供が學校といふ廣い場所で大勢の友達と交はるのは、如何にも面白いことのやうです。その結果として互ひに知識を交換し合ひ、色々と新奇の事を知りますが

生活
や境遇の變つた樣々の階級の子供の集りですから中には下品な言葉をおぼえたり色々良からぬ事を聞き、惡風にも染み易い危險があります。母親は常に我子の友達に注意し、言語動作の粗暴な子供や、頭の惡い子供と遊ばせぬ樣にし、一旦おぼえて來た惡癖は、すみやかに矯正してやらねばなりません。此時子供を敎へるのに「それは惡いことだからお止し」と頭ごなしに叱らないで、如何なるわけで惡い事だか、よく

子供
にわかるやう靜かに云ひ聞かせねばその効果がありません。また子供の好んでやる遊びなり言葉が惡いときは、それに代るよい言葉を與へると子供は知らぬ中に前の惡いものを放棄するものです。たゞやめよとか、之を捨てよといつても反つて好奇心をそゝつて却て之に執着するものです。

教師に對する心得

子供が嬉々として學校に向ひ、よく敎師に慣れ親み學問に對する興味を持つことは必要ですが學校は子供の遊戲場ではなく知識をさづけてくれる神聖な殿堂であり、敎師は子供を遊ばせて下さる方ではなく、子供を敎へ導いて下さる方であることをよく敎へ、親む中にも

禮儀
を失はぬやうにしなければなりません、父母も心して學校や敎師に對する惡い批評などを子供の前でして子供の敎師に對する尊敬心を傷付けぬ樣にしなければなりません。又子供によつては敎師に對して恐怖心を抱き學校に行くことを厭がつたりする者もありますが、之はよく注意して早く矯正させなければ敎育効果に大きい影響を及ぼすものです。
之まで温室のやうな家庭に於て個人的に敎育されてゐた子供が解放的な廣い學校に於て多數の人々と倶に敎育されることは、大なる變化と云ふべく、子供の心身に及ぼす影響も甚大であります。兩親、ことに母親は、よく心して子供を觀察し注意してやることを忘れてはいけません確實な家庭敎育の上に學校敎育を巧に接續して敎育効果を擧げるのは兩親の尊い任務でありませう。

母國見學旅行記
新綠濃かな宇治の春色
彌生高女旅行團　佐藤滿洲野

昨日の疲れもまだ消え殘るに早朝に起き出でゝ準備も忙しい。宇治方面を探らんと出發したのが八時半、三條大橋のほとり朝霧立ちこめて、空は花曇りか、なごやかな舊都の朝である。心地よい宇治行の電車に乘る。大連にもこの位の電車が欲しいと思つた。車窓から郊外の景色を眺めると彼方此方に行儀よく平行して連なる茶畑が濃いみどり色も鮮かに春の茶摘み時を待つ如くにそよ風に香り床しく車窓を訪れて來て私達の旅を祝福して呉れてゐるやうだ。
いつか目的地の宇治に着いた。宇治川の流れは昔を知らぬ顏にのびやかな音を立て宇治橋の下を流れてゐる。邊の森はこんもりと茂つて川水に影を映してゐる。右手に見える森が菟道稚郎子の御墓とか聞く、橋を渡つて春尙淺い靜かな宇治の郊外を心行くばかり味はつた。こんな平和な處が昔から幾度となく戰場になつたのが不思議に思はれる。角田さんの親戚のお姉さまに御案内をして貰つて名にし負ふ平等院を見る。老松の間に見える甍の色も物さびしく、なつかしく境內にある「扇の芝」の老松は古英雄の壯烈な最期を思ひ出さして皆一掬の涙をそゝいだ。鳳凰堂を見る――歷史で習つた有名な建築物、藤原氏全盛時代のもので九百年を經つてゐることの國寶を目のあたり見つゝ其處の住職の方から詳しい說明を聞いて一層感じを深くした。脫げた壁畫にも光がある。お土產に名物のお茶を求められる方も多かつた。やがて私達は宇治を辭して再び電車に乘り御陵前にて下車して伏見桃山御陵へ參拜した。偉大なる明治大帝及昭憲皇太后の神靜まりますおん前に跪づいて言ひ知れぬ感激に滿ちた心地で退出したのである。參拜者續々として絕え間なき有樣である。それから直近所にある乃木神社に詣でた。死して猶大帝のお側近く侍し給ふ將軍を追想して感慨無量であつた。もう時計は十一時を過ぎた。豫定の東山方面へと急いで午後一時頃漸く三十三間堂にと辿り着いた。一千一體の千手觀音に驚いた私達はそこの境內で晝食をとる事とした。
午後三時、折しもしと／＼と降り出した雨を、おかして清水寺に足を引づつた。皆の顏には疲勞の色が濃く現れてゐた。しかし流石に清水の舞臺に立つた時には疲れを忘れて溪の紅葉の秋を想像したり、音羽の瀧の白い三條の線を引いてゐるのを見たりしたのであつた。清水燒のお土產を買つて更に知恩院の宏大な建物に驚き、平安神宮に參拜して終つ歸宿したのは午後の五時半ごろであつた。幸ひに雨も大した事もなく夕食後新京極をぶら／＼した方も多かつた京人形の品評會が宿の各室で開かれたのも面白い。」

白墨の粉

廣島縣沼隈郡柳津村尋常小學校兒童五六年生百數十名が小林校長外職員に引率され三月三十日夕刻發動機船安正丸で廣島市の昭和博覽會を見物に向つた▲其途中三十一日午前三時頃賀茂郡三津濱沖を航行してゐる時六年生の同村柳原義巳（一三）が用便中誤つて海中に轉落したので職員等は甲板に立上り大聲をあげて敎へ兒の名を呼んだ▲然し暗夜のため義巳の姿が見えぬので小林校長は兒童愛護の一念から他の職員の制止するのもきかず當途もなき暗の海中に飛び込み船尾の火を目當てに救助を求めつゝ泳いで居た義巳を偶然發見、全く奇跡的に救助することが出來たさうだ▲村民は校長の厚い情に非常に感激して居ると

聽衆恍惚として『夢の國』『詩の國』に彷ふ
番外演奏迄して盛況を極めた昨夜の軍樂隊演奏會

待ちにまたれた第一艦隊附海軍軍樂隊大演奏會の第一日は九日夜七時から協和會館において開催されたが、定刻前から聽衆續々と詰めかけさしも廣い會場も階上階下共に立錐の餘地なく、座席を得られぬ人々は溢れて廊下に佇むの盛況を呈した、間もなく重い緞帳は開かれて主催者側の挨拶あり、樂長内藤清吾氏の巧なる指揮のもとに

行進曲　キャムベル作「美たる花の面影」から始まる、ステージから流れ出る樂の音に聽衆は唯樂長の指揮棒に曳きづられ、曲目の移り行く毎に我を忘れて陶醉の境に遊ぶ「ズッペの輕騎兵」を終つて長唄「越後獅子」になれば娘のおつきあひに來たお婆あさんも熱心に耳を傾ける、圓舞曲「喜悦の夜」も濟んで十分の休憩にほつと息をついて漸く我に復つた聽衆は尚も席を離れず次の曲目を待つ、再び交響樂「悲愴中のアンダンテ」に始まり聽衆の餘りの

熱狂に　主催者側も動かされ番外演奏に「仙女の夢」を入れることゝなつた、怪奇な夢幻境に心ゆく迄浸り歌劇「ルイズの拔萃」とタクトの踊りと共に夢の國詩の國へ彷ひ醉へるが如く、最後に勇壯な「軍艦マーチ」の演奏あり終つて全員起立して「君が代」を齊唱・散會したのは八時半だつた

今夜の演奏會曲目

協和會館に於ける本社等主催に係る第一艦隊附海軍々樂隊大演奏會二日目十日夜は第一艦隊司令部附軍樂長内藤清吾氏指揮の下にプログラム左の通り決定した

一、行進曲「光輝」ピットグッド作二、序樂「セビラの理髮師」ロシーニ作三、箏曲「都の春」四、喜歌劇「軍艦ピナホア」サリヴァン作

（休憩十分間）

五、圓舞曲「仙女の夢」ワインテル作六、歌劇「道化師」レオンカワロー作七、「軍艦行進曲」瀬戸口作

滿蒙の事情を熱心に傾聽
艦隊幹部將校を招き昨日高柳中將が講演

九日午後二時より艦隊幹部將校一同を招待、協和會館に於て高柳中將の滿蒙特殊事情に就いての講演あり藤田少將始め太田垣由良、佐藤長良外各艦長以下約百餘名出席し少數乍ら皆熱心に傾聽した、先づ山崎文書課長の挨拶に次ぎ高柳中將登壇南滿鐵道の重要なる意義より說起し未開拓の彪大なる餘地を數字的に羅列し興味ある滿蒙に於ける民族の狀態より我國の人口問題に及び一般に邦人に誤り傳へられてゐる馬賊に就いて述べ聽衆を頷かせ次いで現今の滿洲產業の實狀及其分布狀態に付いて終りに支那革命と

三民　主義に至り中將は彼の張作霖が不慮の最期を遂げて以來滿洲は軍閥より政閥の支配する處となり今や三民主義も漸く滿洲の地にも入つて來たそして恐るべきはその裏面に潜在する共產主義で我々は之に對して日支親善の見地から斷然是を排せねばならぬ今日滿洲の地が獨り戰亂の災を免れ年々一億數千の輸出超過をなす盛況にあるのは我國の措置宜しきを得た爲である

と語を結び一同は熱心に或は

手帖　を持つてノートしつゝ傾聽した、最後に藤田少將の謝辭あり散會したのは三時半であつた

松井師團長　高松宮の御機嫌を奉伺

第十六師團司令部は九日入港ばいかる丸にて來滿したが、同日午後二時松井師團長は高級副官を從へ

軍艦觀覽で午後は大賑ひ
◇—お天氣全く定って

お天氣具合に支配されて九日の午前中はさほどでも無かつたが午後になると天候も全く定まつたので人足が急に增え埠頭一帶は人の波を漂はせ電車毎に掃き出される軍艦觀覽者の多いこと、午後二時第三回の軍艦觀覽の團體及有志を載せて滿鐵の小蒸汽が出る、入れ違ひに第一、二回に埠頭を出た見學團が續々小蒸汽に依て戾つてくる「大したもんだね」「どうだあの大砲の大きな事は」口々に實地に今見て來た軍艦の話で恐ろしい雜沓ぶりである、水上警察署ではこの日午前中より總出動して保安取締に血眼の態であつた

坪埠麥課長と共に自動車を驅つて埠頭に來り米山陸軍運輸所長の案內で第二艦隊旗艦榛名に御乘組の高松宮殿下の御機嫌を奉伺した

艦隊側の選士控室
滿鐵社員倶樂部內に特設

滿鐵大連道場對聯合艦隊の歡迎對抗柔劍道試合を行ふ大連道場は高松宮殿下の台臨を仰ぐこととて內部の設備に大修築を加へつゝあつたが、全部完成して道場各部とも見違へるばかりの美しさとなり宮殿下の御成りを待つばかりとなつた、選士控室は大連側は道場內に艦隊側の選士控室は社員倶樂部內に定めたから艦隊側選士諸氏は滿鐵本社左側協和會館橫入口より入られたく、同控室にて更衣等總ての支度をされたい

海軍講演會
來る十二日夜協和會館で豐田山城艦長講演

海軍思想普及のために海軍協會海務協會滿鐵社會課及本社は聯合艦隊入港を機會に講演會を開催せんと豫て來谷口司令長官に依頼中であつたところ之が快諾を得特にゼネバ會議に委員として出席した山城艦長豐田貞次郎大佐を派遣されることゝなつたので來る十二日午後七時より滿鐵協和會館に於て之を一般に公開して大講演會を開催することゝなつた、演題は「ゼネバ會議の概要」で約三時間に亘つて講演の筈で入場無料多數市民の來聽を歡迎する

病勢昂進して重態の後藤伯
ゆうべ病室を移す

【京都特電九日發】後藤伯は九日午後八時半に至り病勢昂進し重態のまゝ病室を替へた

九日正午の後藤伯の容體は體溫三七度一、脈搏九〇、呼吸二〇、下齒に輕度の浮腫現はれ時に脈の不整、しやくりあり玄米スープ二〇グラム、西瓜汁三〇グラム、梨汁七〇グラムを攝取したが各博士共口を緘し詳細の容體を語るを避けてゐるが、大體に於て經過は前回發表より幾分懸念すべき狀態に進

浮腫を案ず
みつゝある模樣である

【京都九日發電】後藤伯の病狀につき伊藤博士は語る

發病以來既に五日を經過してゐるが最も案じてゐるのは營養達の攝取が尠いことである、浮腫は營養量の攝取が尠いことから來た當然の結果であるけれども之が一番案ぜられる、處で今差當り急變と云ふやうな事はないが少しも良いとは言はれませんから吾々の方でも心配してゐます、此の調子が今暫く續けば結局心臟が弱つて來て懸念すべき狀態に進むので此の點を非常に警戒してゐます

廣い室に替つたまで
伊藤博士語る

【京都特電九日發】病室移轉後伯の容體を診察した伊藤博士は語る

重態のまゝ室を替へる事が何か變に思はれるが決してそんな意味ではない、幸ひ廣い室があいたのでそこへ代つたまでゝ伯の容體は更に變りはない

午後六時容態

【京都特電九日發】九日午後六時における後藤伯の容體發表は次の如し

體溫三七度五、脈搏九〇、呼吸二〇、シヤクリ輕減す、されど脈搏および呼吸の不整は再びその度を增せり、前回發表以來、野菜とーブ八十五グラム、玄米スープ二十五グラム、重湯五グラムを攝取す

正午の容體

【京都九日發電】飯塚博士發表の飯塚博士は語る

一般からいふと午前に比較して少し惡い方である、浮腫も依然としてゐるので多少氣遣はれる容體である

全滿の先生達が陸上競技を行ふ
今秋九月下旬ごろ三日間にわたり大々的に

關東廳學務課では九月下旬ごろ旅順第一中學校に於て各學校教職員の陸上競技を擧行することに決定し、大體のプログラムを作るため來る十七日午後一時から第一尋常小學校で第一回の委員會を開催するが、右競技は關東州內各學校と滿鐵所管學校の對抗競技を主眼とし、野球、テニス又は

蹴球を　含み三日間にわたるもので第一日は運動に關する講話、第二日は對抗試合、第三日は運動及體育に關する宣傳を行ふといふ、九日競技事項其他に關し左の人々を委員に囑託した

山口二郎、高橋司、西內精四郎、松原斧吉、吉野保一郎、倉島五太郎、村上元吉

東京市電バス從業員怠業
待遇改善を拒絕され

【東京九日發電】東京市電自動車從業員千三百名（內女車掌六百名）は昨年末待遇改善の嘆願書を提出したが、去る二日要求の大部分を拒絕されたので自治會本部では其の對策として「安全デー」なる名目の下に怠業を爲す事に決し同日より速力を減じてゐたが、九日に至り三哩で五分乃至七分の遲力を減らし全く鼠太郎の役を爲さぬ迄に至つたので當局でも棄置けず九日午後二時より自治會幹部を招致し要求につき懇談することゝなつた

立教軍勝つ　對同志社戰

【東京九日發電】同志社對立教第一回野球戰は八日午後神宮球場に行はれ四アルファー對零にて立教の勝利に歸した

故池上總監の追悼會執行

【京城特電九日發】故池上政務總監の追悼會は京城公會堂で九日午後三時より執行、山梨總督初め本府各局部課長官紳千五百名の參會者あり、總督府職員代表生田內務局長につぎ各代表の弔辭あり總督を初め各名士の燒香、午後四時式

足袋を橫領

大連西崗街一一五無職李恩波（二七）は若宮町一三八足袋類卸販賣業馬場仲次郎方の店員として奉天に出張し商取引に從事中、雇ひ主馬場が注文によつて奉天春日町萬谷商店宛送附した足袋類の中十三箱價格二千二百五十一圓八十錢を主人の命なりとて同商店より引取り三月二十六日および同二十七日の兩日に亘り橫領して哈爾賓道外北五道街物產商義聚成かたに賣却した事實發覺、馬場より告訴され八日大連署の手に取押へられ目下留置取調中

鮮妓から失敬

沙河口元町六二ノ一料理店永興館方抱え酌婦千島事鮮人柳順一（二〇）は市內若狹町二〇八滿鉄行商人小川四郎（三）を相手取り瞞領の告訴を沙河口署へ提出した

小川は去月二十九日登樓の際刑事と僞稱して遊興し歸るに際し千島の所有に係る十八金線眼鏡（價格約十八圓五十錢）一個を借用するといつて持ち歸つたまゝ猫婆をきめ込んだものだと

モヒ密賣團の一味六名逮捕

【京城特電九日發】京城本町署では支那人のモルヒネ密賣團が仁川を中心に巨利をしめてゐる事を探知し三月中頃から捜査中のところ、九日までに山東省登州府生れ仁川支那街五叢休法（三七）外五名を逮捕したるが、主犯は縛につかず目下捜査中である、一味は大連より密輸してゐるもので約九百圓のモルヒネを押收した

子供を返せ　說諭を願出づ

大連松林町三七小田吉三郎は三年前美濃町五七田中兼三郎より同人妻女の懷胎中より生れた子供の貰ひ受けを約し生後四ケ月の女兒を美代子と名付け長女として入籍し以來實の親と同樣愛撫して來たが最近に至り田中は小田が酒色に溺れて將來見込みなしと小田の妻女と美代子の身柄を他に隱匿したので捜査した處美代子は田中がその手許に引き取つて養つてゐる事判明したので

小田は田中に對し美代子の身柄の引渡し方を再三請求したが、田中は言を左右にして返還しないから直に引渡すやう說諭して呉れと小田は九日大連署に願つて來た

東京モス爭議

【東京九日發電】閉鎖中の東京モスリン吾嬬工場の爭議は八日警視廳調停課より乘出し解決に努力したが結局爭議側に何等諒解出來ず物別れとなつた、會社側は爭議の長引くのを覺悟し八日正午寄宿女工に對し一時國元へ歸るよう通達し全女工二千餘名を六十三組に分つて送り歸すことになつたが女工達は絕對に歸らぬと頑張つて居り爭議解決の前途はなほ多難である

歸還部隊慰勞

十四、五の兩日旅順で

旅順市役所主催・在旅各新聞支社後援のもとに來る十四、五の兩日午後六時から昭和園において歸還する第十五聯隊、重砲、驅逐艦乘組の各將士約一千百名を招待し市民の熱誠なる送別を兼ねた慰安會を開催することになつたが、當日のプログラムは活動寫眞、藝妓の手踊・童謠、三曲合奏、素人浪花節其他

三高女生歸る

過般母國の各地を見學旅行中であつた大連神明高女の母國見學團は無事長途の旅を終へ八日午後六時朝鮮經由陸路歸連した、また旅順高女生一行六十六名は佐藤、尾崎、門島三教諭に引率され、同じく奉天南滿中學堂生三十八名は水谷、近藤兩教諭に引率されて九日入港ばいかる丸にて歸滿した

出火二つ

八日午前十時半ごろ大連東山町番外苦力張振海かたより出火、外一戶を燒失し同四十五分ごろ鎭火したが、原因は子供の弄火にして損害は約二十圓また同日午後一時には武藏町三八叢學圃と隣家の境目より出火、消防隊の活動により兩家の天井二坪ばかり燒失したのみ大事に至らず卽時鎭火したが原因は不明、損害十圓である

小盜兒發見

前後十一回に亘つて船舶專門にコソ泥を働いてゐた山東省登州府生れ東山町四番地張培通（二五）金州管內馬家屯王明道（二八）の兩名は英國汽船シチーオブカートン號の二等機關士室に潜込んだ所を發見され水上署に八日逮捕された

昇汞の行方

大連能登町日銀時計店內山岡勇次郎（四八）は七日午前中但馬町小寺藥局より劇藥昇汞を受け取つたまゝ行方を晦ましたので自殺の虞れありと浪速町八六岩崎時計店より十日大連署へ捜査方願出た

海務協會祝賀會

大連海務協會では十日午前十一時半より創立二十周年祝賀會を開催する筈

巴町の夜火事

九日午後七時半ごろ沙河口巴町百廿九番地支那人張子明方勝手口より發火、大事に至らず消止めた

手長の支那傭人

大連市天神町二〇大町吉次郎かた傭人翟棗生（二五）は七日午後十一時より翌八日午前八時までの間に於て大町所有にかゝるプラチナ時計一個價格九十圓を竊取した被疑者として九日大連署の手に取押へられた

けふのラヂオ

昭和四年四月十日（水曜日）

自午前十一時　相場（特產、錢鈔、株式各地相場）

自午後零時三十分　相場（特產、錢鈔各地相場）ニュース

自午後三時三十分　相場（特產、錢鈔、株式各地相場）ニュース

自午後六時廿分（海軍々樂隊の夕）

一、ニュース

二、英語講座　英語の發音　大連彌生高等女學校茶谷茂（以下連絡放送）

三、ブラスバンド　イ、行進曲光輝（ピッドウッド作）ロ、序樂セヴィアの理髮師（ロシニー作）ハ、箏曲都の春ニ、喜歌劇軍艦ピナホア（サリバン作）（休憩十分間）ホ、圓舞曲仙女の夢（ウキンテル作）ヘ、歌劇道化師（レオンカバロ作）ト、軍艦マーチ（瀨戸口作）海軍々樂隊　指揮海軍々樂隊長內藤清吾

四、料理獻立（以下自局放送）

五、天氣豫報

本社懸賞當選小說（無斷轉上演）

人生の曲藝（96）

瀨野皓太作　淺枝次朗畫

ひなげしの花（四）

休憩時間は、プログラムで見ると僅かに五分間であつたので、場席を立つて、休憩室や、喫茶室などに入るものは少かつた。

件の支那將校も、そのまゝ彼の傍に座つたまゝであつた。

暫くしてから、その支那將校はそつと内村に囁いた。

「あなたは、途中からお出でになりました樣ですが、どうですか私々には今のは少しも判らなかつたのですが、やつぱり面白い芝居で御座いませうか」

彼は立派な日本語を使つてゐたが、やはり語韻にはかくす事の出來ないものがあつた。

「いゝえ、私共にもちつとも判りません。これなども」と内村は、妹をさした「判らない所が面白いんだと言つてゐる始末です」

「あら、あんなこと」

みち子は顔を赧くして叫んだ。

支那將校は、微笑と共に、懇懃に訊ねた。

「奥さまで?」

「いゝえ、妹です」

彼は更に微笑んだまゝ内村に言つた。

「お妹さんの、さき程の御話は私も聞いて、思はず微笑した所でした。それでは、やはりこの芝居に引づられて來るこのお客たちはお殿の樣に葉山百合子の踊で御座いませうか」

「實は、その葉山百合子をまだ私は一度も見た事はないのです。私は今から一ケ月も前に、滿洲から歸つて來たばかりの所ですから」

「滿洲から」支那將校は突然異樣な光りをその眼に輝かせた。

「で、滿洲はどちらから?」

「私は田舍に住んでゐます。しかし、この妹たちは旅順にゐるのです」

「旅順に?」かの支那將校は益々落背きを失ひかけてゐた。

「一體、いつ頃から滿洲においでになりました」

「左樣、もうかれこれ二十年からになります。殊に旅順は私共にとつて忘れがたい土地で、私はあの土地の法文科大學を出たのです。」

「で、失禮ですが、あなたはどちらで御座います」

かの將校は、漸くもとの平靜なむもちに歸つてゐた。

「私も滿洲のものです。私は奉天の軍隊から、おくにへ留學を命ぜられてゐるものです」

その時、開幕をしらせる電鈴が鳴り響いた。

觀客席の灯は總ち消され、幕が次第に上つた。

黒いバツクの舞臺には、色さまざまな光線が投げかけられてゐた。

「あゝ、瀕死の白鳥」

みち子が小さく呟いた。

管絃樂は、漸く、うめくが如く響き始めた。

と、見れば、今の今まで何一つ無かつたと思つてゐた舞臺のまんなかには、美はしき白衣に包まれた麗人が打ちつけられた樣に、ひれ伏してゐるではないか。

彼女は次第に、その首を上げ、その腕をもたげ、その手を伸ばし、まるで夢の中から浮び出た樣に、雪白の肢體を、觀衆の前に現はし始めたのだ。

「あれが、葉山百合子です」

内村信策は、口の中で小さく叫んだ。

件の支那將校が内村の耳もとで囁いた。

瀕死の白鳥は、やがて彼女の美しき惱みを、そのなよやかなる姿もて、訴へ始めたのだ。

白鳥は、その美しき生涯の最後の日を、出來得る限りの媚態をもて飾らうとしてゐるらしかつた。

白鳥はたゞ躍り、たゞ狂ふてゐる。

葉山百合子の、惱ましき迄の美しい姿態は、たゞ内村信策の魂をかき亂すばかりであつた。彼女の媚態が次第に頂へ昇める共に、彼女の胸を刺してゐる銀の箭が、キラキラと光つて、時に死なんとする白鳥の心は、しきりに、内村の胸を痛ませるのであつた。

しかし、彼女は、次第にその足を折り、その身體を地上に投げつけて、悶々として、たゞあえぐのみであつた。

「あゝ、葉山百合子」

川柳募集課題

◇「上と下」 田鶴局選

◇「聲」 藤田榮影子選

◇「春氣分」 石原青龍刀選

▽各題五句必ず別紙に認むこと

▽本月に限り各題共十五日限

滿日社文藝係

滿日柳壇

■同想類句に就て　可居

緣談と云ふ題材そのものが古い丈けに

片目だがきりようはよいと仲人云ひ　（古川柳）

菊を褒めてから緣談の事になり　（一行子）

裸體でと云へば娘は可笑がり　（古川柳）

緣談を拒む娘に深い謎　（香樂）

考へて置けと娘は云はれたり　（靜雲）

娘の口らしいに娘落付かず　（小次郎）

緣談の小部うしろで猫が鳴き　（春朗）

嫁ぐ日を數へる樣に運ぶ針　（実兆）

句の優劣は別として詠みつくされてゐるので私は此の選に當つて特に同想や類句に注意して見た、從來當柳壇の選は千篇一律であつた爲めに、投句諸兄はどの程度まで同想類句が多いか御承知ではなからう、と考へ發表方法を變へて見た譯である、その意味に於て添削は餘り仕なかつたから、私が試みた發表に依り、着想とか修辭とか句品とかに對する諸兄の御研究の歡足とも成らば幸ひである。

最後に載せてある軸吟は特に難の多い句であるが、此れを如何に添削すれば可なりな句に成るか御研究の俎上に供へた、御研究の上（大連市寺内通四七大連新川柳社）へ御投稿下されば同社の月刊雜誌「滿洲」（半期一圓）の紙上にてお互ひに檢討して見たいと思つて居る尚この選に對する御疑問があれば御住所と御姓名を御明記下されば御回答申上げます

●緣談とり〲

緣談の相手を母に聞かせられ　泉頭 俊子

茶釜が本當に成つて骨を入れ　沙河口 喜樂

モダーンの見合男が初心にされ　同 新生

緣談を娘うす〲知つて居り　同 同

嫌ひでは無からうかのと押つける　鐵嶺 泣佛

緣談は隣り近所に早く知れ　撫順 十四春

緣談娘疊を指でなで　周水 龍象

媒介の夫婦を床へ座らせる　旅順 榮九郎